

平成24年度

南部町教育委員会の事務の点検
及び評価報告書

＜平成23年度実績＞

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき、教育に関する事務が南部町教育施策の方針に基づいて適切に実施されているか点検するとともに、その成果及び課題等について自ら評価し報告するものです。

南部町教育委員会

◆まえがき

南部町教育委員会では、「豊かで潤いのある生涯学習社会の形成に向けて、心身ともに健康で豊かな情操と優れた創造力、たくましい実践力を持ち、郷土の発展につくす人材の育成」に努め、学習環境の整備に取り組んでいます。

こうした取り組みは、これまでも広報誌などを通じて町民の皆様にお知らせしてきたところですが、平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することとされました。

このため、南部町教育委員会では、今後の効率的で効果的な教育行政を推進し、町民の皆様へ説明責任を果たすことを目的に外部の学識経験者などから意見を伺いながら、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、このたび、その結果を報告書としてまとめました。

南部町教育委員会では、今後も「個を生かし生きる力と学ぶ力や夢をはぐくむ学校教育の推進」「生きがいのある人生と、豊かで住み良い地域社会を実現する社会教育の推進」「未来へ伝える貴重な文化財の保存・活用」を目指し、地域の伝統と特性を生かした教育行政の推進に努めて参りますので、町民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年3月

南部町教育委員会

点検評価アドバイザー（学識経験者）による意見

南部町の教育方針、学校教育指導及び社会教育指導の方針と重点にかんがみ、南部町教育委員会の事務の点検及び評価報告書を拝見しましたので、所見の一端を述べます。

初めに、特記すべき事項として

1. 「特色ある学校づくり」として、町当局が厳しい財政事情にもかかわらず、学校教育に町独自の支援を実施していることは、教育にかかる並々ならぬ意欲を感じる。
2. 「開かれた学校…」や「特色ある学校づくり…」等について共通理解を図り、学習指導要領から「不易と流行」を読み取り、「不易」なる事項への重点化と流行とのバランスを図ること。
3. 「子育ては社会総がかり」への啓発活動と「生涯学習社会」の一層の充実に努めること。

具体的には、

1. 町民の声・ニーズをアンケート等で収集し、事業のマンネリ化防止、事業のスリム化や重点化および運営等に生かしている事業が増えてきた。
各事業の広報活動と申し込み方法の簡素化に取り組む事業が増えつつある。
2. 教育委員会内部において、事業の狙い・目的等に照らして事業の見直し等が進められてきている。この件は町当局主催の事業との重複なども精査する必要がある。
3. 実績の評価及び総合評価の基準づくりは数値化をベースに文章化も取り入れる努力が必要である。継続事業においては、これまでの評価との対比等も勘案して当該年度を評価する。

4. 学校教育の最大の責務である生きる力としての「基礎的な学力の向上」に見合う時間や諸経費を手当てしているかという視点を大事にする。
5. 学習状況調査の結果は、真摯に受け止め、その背景を十分に分析し活用に努めること。基礎的な学力の向上に挑戦している学校がある。小中の連携教育の推進も一方法である。
6. 事務事業ごと個別評価表の形式の吟味と記入に当たっては共通理解の上、記入すること。

終わりに、

1. 21Cは一層知識基盤社会。学校教育においては各種の資料を分析し、基礎的な学力の充実に努めること。
2. 学校教育、家庭教育（基本的な生活習慣と学習習慣作り）と社会教育（企業内教育を含む）の連携を図ることで一層教育成果を高めることが可能であり、町が活性化する。

南部町教育委員会の事務の点検評価アドバイザー

平 山 幹 雄

庭 田 卓 夫

目 次

○点検及び評価の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 1
○事務事業の点検及び評価とは	・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 2
○南部町教育方針	・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 3～10
1. 学校教育指導の方針と重点	・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 4
2. 社会教育指導の方針と重点	・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 8
3. 文化財保護行政の方針と重点	・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 9
4. 学校給食重点目標	・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 10
○教育委員会事務の点検及び評価に関する事務事業一覧表	・・・・ P. 11～13
○事務事業毎個別評価の観点	・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 14
○事務事業毎個別評価表	・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 15～42
○教育委員会活動の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 43～48
1. 教育委員会委員構成	・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 43
2. 教育委員会の活動概要	・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 43
3. 教育委員会会議	・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 44
○教育委員会事務局の組織の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 49～53
1. 教育委員会機構図	・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 49
2. 教育委員会事務分掌	・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 50
3. 教育関係予算の状況（決算）	・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 53
○南部町立小・中学校児童生徒の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 54
○町立小・中学校の「特色ある学校経営」事業の目的と実績	・・・・ P. 55～60

点検及び評価の概要

1 経 緯

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律(平成19年法律第97号)により、平成20年4月1日から、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出、公表することとされました。

2 点検評価の対象

南部町教育方針にある教育施策の重点に基づいて行う事業

3 点検評価の方法 〈内部評価〉

(1) 事業担当部署による点検及び評価

- ・各事業担当部署が評価シートを作成、実施状況をまとめて評価

(2) 教育委員会による点検及び評価

- ・各事業担当部署が評価したものを、事業の妥当性について評価

4 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、学識経験者等を「点検・評価アドバイザー」として委嘱し、点検・評価の実施方法や内容について意見をいただいております。

5 点検・評価アドバイザー

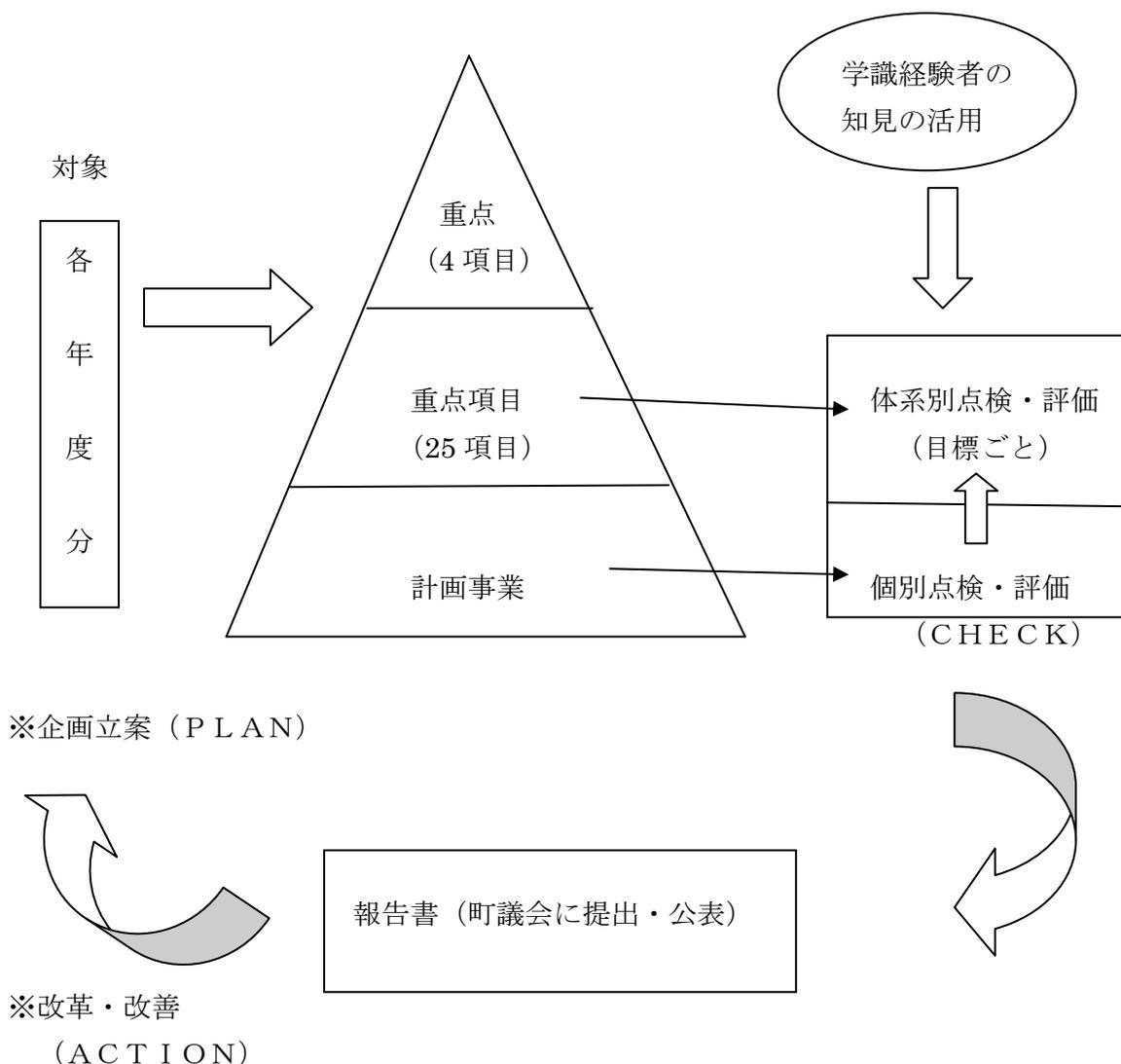
氏 名	団 体 ・ 役 歴
平 山 幹 雄 氏	元青森県西北教育事務所長・元八戸市立第一中学校校長 元八戸市教育委員会委員長
庭 田 卓 夫 氏	元南部町教育委員会参事学務課長

(1) 点検・評価アドバイザー会議の開催状況

- ・第1回会議 平成24年12月18日開催
- ・第2回会議 平成25年 1月10日開催
- ・第3回会議 平成25年 1月22日開催
- ・第4回会議 平成25年 2月 7日開催
- ・第5回会議 平成25年 2月14日開催

事務事業の点検及び評価とは

事務事業の評価は、教育委員会が行っている事業について、点検と評価を行い、必要に応じて事業の取り組み方法等を見直して、次の仕事の取り組みに生かしていくものです。



事務事業の企画立案 (PLAN)、実施 (DO)、点検・評価 (CHECK)、改革・改善 (ACTION) を継続して行うことで、より効率的で質の高い事務事業の実現を図っていきます。

南部町教育方針

◇ 基本理念

教育はひとつづくり、人づくりはまちづくり

◇ 基本方針

南部町教育委員会は、青森県教育委員会及び三八教育事務所、関係機関、諸団体との連携を図り、豊かで潤いのある生涯学習の形成に向けて、「心身ともに健康で豊かな情操とすぐれた創造力、たくましい実践力を持ち、郷土の発展につくす人材の育成」に努める。

◇ 教育目標

1. 町民の連携意識を高めながら、豊かな心と広い視野を持ち、積極的に郷土の発展に貢献することのできる品性豊かな町民の育成に努める。
2. 時代の変化に対応しながら、自分の生活に目標を持ち、豊かな情操と創造力・実践力を磨きながら生涯学び続け、社会参加のできる町民の育成に努める。
3. スポーツに親しみながら、自分の体力と健康に関心を持ち、自主的に健康で安全な生活を営むことのできる町民の育成に努める。

◇ 教育施策の重点

1. 学校教育においては、主体的な学習態度を育て、基礎・基本的学力の定着や考える力を身につけさせ、夢を育む教育を推進する。
また、町内小中学校へ「特色ある学校づくり」のために町独自の支援を行う。
2. 社会教育においては、いつでも、どこでも、誰でもが学べる生涯学習体制の確立を図るとともに、学社融合事業と家庭教育の充実に努める。

3. 社会体育においては、スポーツ活動の振興やニュースポーツの普及と実践化を図るとともに、日常生活での体力づくりを推進する。
4. 文化活動においては、芸術文化活動の奨励や育成を図るとともに伝統文化の継承育成や未来に伝える貴重な文化財の保存・活用に努める。

【学校教育指導の方針と重点】

1. 方針

知・徳・体の調和の取れた人間性豊かな幼児・児童・生徒を育成するため、教育は人づくりという視点に立って、学校経営に創意工夫をこらし、個を生かし生きる力と夢をはぐくむ学校教育の推進に努める。

2. 重点

(1) 授業の充実

一人一人の子どもが、各教科及び総合的な学習の時間等に主体的に取り組み、確かな学力を身に付けることができるよう、言語活動の充実を図りながら、一人一人の能力・適性に応じた指導と学習習慣の育成に努める。

ア 基礎的・基本的内容に即した教材の工夫と教材研究の深化

イ 個に応じた学習過程と評価を重視した指導の工夫

ウ 自ら課題を見つけ、よりよく問題を解決する力を身に付ける指導の工夫

エ 主体的・体験的な学習のための環境作りの充実

(2) 道徳教育の充実

一人一人の子どもが、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を具体的な生活の中に生かし得るよう、道徳性の育成に努める。

ア 道徳的実践力を高める指導の工夫

イ 豊かな心をはぐくむ体験活動の推進

ウ 郷土に関する資料の開発と活用

(3) 特別活動の充実

一人一人の子どもが、望ましい集団や豊かな体験の中で互いの個性を認め合い協力してよりよい生活や人間関係を築いていくことができるよう、自主的、実践的な態度の育成に努める。

- ア 自主的な態度を育てる学級活動・ホームルーム活動の工夫
- イ 自治的な意識を高める児童会活動・生徒会活動の工夫
- ウ 児童の個性の伸長と触れ合いを深めるクラブ活動の工夫
- エ 感動や連帯感を高める学校行事の工夫

(4) 体育・健康教育の充実

一人一人の子どもが、生涯にわたり自ら進んで運動に親しみ、健康・安全で活力のある生活を送ることができるよう、心と体を一体としてとらえ、健康でたくましい体をはぐくむ教育の推進に努める。

- ア 運動に親しむ資質や能力を育て、運動の楽しさや喜びを味わわせる指導の充実
- イ 運動の習慣化を図る指導の充実
- ウ 体力の向上を図る指導の充実
- エ 保健指導の充実
- オ 安全指導の充実
- カ 食に関する指導の充実

(5) 生徒指導の充実

一人一人の子どもが、豊かな生活を送ることができるよう、家庭や地域社会及び関係機関等との連携を図りながら、心の結びつきを基調とした指導を行うとともに、問題行動等の未然防止、早期発見、早期対応に努める。

- ア 基本的な生活習慣や自己指導能力を育成する協同指導体制の充実
- イ 生徒指導の機能を生かした学年・学級・ホームルーム経営の充実
- ウ 児童理解・生徒理解に基づいた教育相談の充実

(6) キャリア教育の推進

一人一人の子どもが、自らの生き方を考え、社会的・職業的自立ができるよう、必要な基盤となる能力や態度の育成に努める。

- ア キャリア教育指導体制の整備・充実
- イ 将来の生き方指導・進路指導の充実
- ウ 児童生徒の発達段階に応じた勤労観・職業観の育成

(7) 特別支援教育の充実

発達障害を含む障害のある子どもが、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善、克服するとともに、その持てる力を最大限に発揮して自立や社会参加ができるよう一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援に努める。

- ア 校内支援体制の整備・充実
- イ 個別の指導計画の作成と活用による指導の充実
- ウ 個別の教育支援計画の作成と活用による関係機関と連携した支援の充実
- エ 交流及び共同学習の推進

(8) 環境教育の推進

一人一人の子どもが、環境と人間のかかわりについて関心と理解を深め、環境に対する豊かな感受性を養うことができるよう、環境保全に主体的に取り組む態度の育成に努める。

- ア 教科等間の連携を踏まえた指導の工夫
- イ 地域の環境の実態に即した指導の工夫
- ウ 環境にかかわる体験学習の推進

(9) 国際化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、我が国や諸外国の文化と伝統について関心と理解を深めるとともに、国際社会に貢献できるよう、国際理解教育の推進に努める。

- ア 郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進
- イ 外国語指導助手等の活用や言語活動の工夫・充実による、外国語を通じたコミュニケーション能力の育成
- ウ 異なった文化や習慣を持つ人々との交流の推進

(10) 情報化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、情報活用能力を身に付けることができるよう、情報モラルにかかわる指導の充実を図り、系統的・体系的な情報教育の推進に努める。

- ア 情報教育を推進する指導体制の整備・充実
- イ 学習指導におけるコンピュータ等の適切な活用の推進
- ウ 情報通信ネットワーク等を適切に活用した教育の推進

(11) 研修の充実

教職の専門性を高め、教育活動の充実を図るため、計画的・積極的な研修の推進に努める。

- ア 校内研修体制の整備・充実
- イ 学校の教育課題解決のための実践的研究の充実
- ウ 地域と連携した特色ある教育活動の研究・推進
- エ 教育要領・学習指導要領に基づく実践的研究の充実

(12) 複式教育の充実

少人数の特性を生かし、一人一人の個性・能力の伸長を図るとともに、社会性の育成に努める。

- ア 学校運営・学級運営の創意工夫
- イ 複式指導の充実

(13) 幼稚園教育の充実

一人一人の「自立の態度」を育成するために、心身の発達の実情をよく理解し、自発的な活動を促す指導の充実に努める。

- ア 調和と統一のある教育課程の編成
- イ 実態に即した指導計画の整備
- ウ 「自立と協同の態度」を育成する指導の工夫

【社会教育指導の方針と重点】

1. 方針

社会の変化に対応しながら、ライフステージに応じて、自己の啓発・向上をめざし、生きがいのある人生と豊かで住みよい地域社会を実現する社会教育の推進に努める。

2. 重点

(1) 社会教育推進体制の充実

- ア ライフステージに応じた社会教育の基盤整備・充実に努める。
- イ 社会教育、学校教育、家庭教育の融合による教育活動の推進に努める。
- ウ 地域教育力の向上に資する人材の育成に努める。
- エ 学習情報の収集・提供及び学習相談の体制の充実に努める。

(2) 多様な学習機会の拡充

- ア 家庭教育の支援と学習活動の推進に努める。
- イ 青少年の豊かな人間性を育む学習活動の推進に努める。
- ウ 学習者が自発的に学習する体制整備に努める。
- エ 子どもの読書活動の充実に努める。

(3) 社会教育施設等の機能の充実

- ア 社会教育施設の整備充実及び活用の促進に努める。
- イ 多様な学習要求に対応する公民館活動の推進に努める。
- ウ 社会教育団体や学習グループ、サークル等の活動支援に努める。

(4) 多様な生涯スポーツの振興

- ア 社会体育施設の整備充実及び活用促進に努める。
- イ スポーツ・レクリエーション指導者の養成と活用促進に努める。
- ウ スポーツ・レクリエーション活動の普及促進に努める。
- エ スポーツ関係団体の育成と活動の推進に努める。

【文化財保護行政の方針と重点】

1. 方針

郷土に対する愛着と誇りを培い、うるおいのある町民生活を実現するため、未来へ伝える貴重な文化財の保存・活用に努める。

2. 重点

(1) 文化財の保護・保存

- ア 文化財調査や記録作成を行い、国・県及び町の文化財指定を進める。
- イ 指定文化財の保存・修理及び防災施設等の支援に努める。
- ウ 様々な機会・手段を通じて文化財保護思想の普及・啓発に努める。
- エ 国指定重要文化財「南部利康霊屋」の保存管理に努める。
- オ 国指定史跡「聖寿寺館跡」の保存管理に努める。
- カ 国登録有形文化財「田中家住宅主屋・米蔵・門」及び「村井家住宅主屋」の保存支援に努める。

(2) 文化財の整備・活用

- ア 国・県及び町指定文化財や関連施設をネットワーク化し広域的活用を進めるとともに、情報発信に努める。
- イ 史跡聖寿寺館跡の土地公有化事業と発掘調査事業を進め、整備と活用に努める。
- ウ 南部氏関連史跡の調査研究活動と多様な活用に努める。

(3) 伝統芸能・技術の継承

- ア 伝統芸能の保存及び後継者の育成支援に努める。
- イ 伝統芸能の発表機会の充実に努める。
- ウ 子どもの伝統芸能伝承活動の推進に努める。

【学校給食重点目標】

- (1) より安全、安心のおいしい給食を目指します。
- (2) 栄養バランスのとれた食事内容の充実をはかります。
- (3) 手作りの料理を心がけます。
- (4) 伝統食、郷土食を取り入れ、季節感を大切にします。
- (5) 地元の産物を活用しながら、地域との連携を大切にします。

教育委員会事務の点検及び評価に関する事務事業一覧

No. 1

番号	事務事業名	ページ	担当課・所
1	スクールサポーター配置事業	P.15	学務課
2	スクールカウンセラー配置事業	〃	〃
3	小学生国内交流事業	〃	〃
4	就学指導委員会事業	P.16	〃
5	就学援助事業	〃	〃
6	学校の芸術文化活動事業	〃	〃
7	学校施設管理事業	P.17	〃
8	奨学金貸付事業	〃	〃
9	特別支援教育就学奨励費補助事業	〃	〃
10	中学生海外派遣事業	P.18	〃
11	語学指導外国語青年招致事業	〃	〃
12	教職員研修事業	〃	〃
13	幼稚園就園奨励費補助事業	P.19	〃
14	教育課程（名川幼稚園）	P.20	幼稚園
15	教育課程（南部幼稚園）	〃	〃
16	発表会（おゆうぎ会）（名川幼稚園）	〃	〃
17	生活発表会（南部幼稚園）	P.21	〃
18	お泊り保育（名川幼稚園）	〃	〃
19	お泊り保育（南部幼稚園）	〃	〃
20	運動会（名川幼稚園）	P.22	〃
21	運動会（南部幼稚園）	〃	〃
22	体験活動（名川幼稚園）	〃	〃
23	学校と地域ネット推進事業	P.23	社会教育課
24	文化賞・スポーツ賞表彰	〃	〃
25	学校支援地域本部事業（国・県補助事業）	〃	〃

番号	事務事業名	ページ	担当課・所
26	青年教室	P.24	社会教育課
27	家庭教育セミナー	〃	〃
28	ふるさと「学習」キャンプ	〃	〃
29	家庭教育講座	P.25	〃
30	成人式	〃	〃
31	南部ふるさと塾	P.26	〃
32	女性学級	〃	〃
33	町内文化財パトロール事業	P.27	史跡対策室・社会教育課
34	奥州街道の整備・活用・普及事業	〃	〃
35	国史跡「聖寿寺館跡」の活用（見学・体験発掘・出前授業）	P.28	〃
36	国史跡「聖寿寺館跡」の発掘調査	P.29	〃
37	南部七唄七踊り全国大会	〃	〃
38	伝統芸能・技術の継承事業	P.30	〃
39	アロマフィットネス講座	P.31	公民館
40	着付け教室	〃	〃
41	英会話教室	〃	〃
42	ルーシーダットン教室	P.32	〃
43	ヨガ体験教室	〃	〃
44	おもしろ体験教室	〃	〃
45	読み聞かせ教室	〃	〃
46	趣味の教室	P.33	〃
47	第5回町民運動会	P.34	体育館
48	第27回うぐいすマラソン大会	〃	〃
49	第5回縦断駅伝競走大会	〃	〃
50	第6回町民歩け歩け運動大会	P.35	〃

番号	事務事業名	ページ	担当課・所
5 1	ニュースポーツフェスティバル	P.3 5	体育館
5 2	ニュースポーツ i n スクール	〃	〃
5 3	ニュースポーツ移動教室	P.3 6	〃
5 4	転倒・寝たきり予防教室	P.3 7	B&G海洋センター
5 5	水の安全教室事業	〃	〃
5 6	B & G 「体験クルーズ」	〃	〃
5 7	B & G 海洋体験セミナー	P.3 8	〃
5 8	B & G 会長杯三戸郡下中学校バレーボール大会	〃	〃
5 9	B & G スポーツ大会青森県大会	〃	〃
6 0	B & G クリーンフェスティバル i n なんぶ	P.3 9	〃
6 1	初心者水泳教室	〃	〃
6 2	小学校水泳教室	〃	〃
6 3	中村真衣講演会・水泳教室	P.4 0	〃
6 4	水に賢い子どもを育む年間型活動プログラム 事業	〃	〃
6 5	安全・安心な給食	P.4 1	学校給食センター
6 6	バランスのとれた給食	〃	〃
6 7	手作り感ある給食	〃	〃
6 8	季節感ある給食	P.4 2	〃
6 9	地産地消の給食	〃	〃

事務事業毎個別評価の観点

1. 事業の評価

事務事業の実績の評価は、各事務事業の担当者が事務事業評価シートを作成することにより行われます。評価の基準となる項目は、計画性・効率性・効果性・妥当性の4項目で検討され、次表の3段階で評価します。

- **計画性**：事業を必要とする社会的ニーズ、事業の進捗状況および終期の設定など事務事業が計画的に取り組まれているかを評価します。
- **効率性**：コストの節減効果、一人当たりの事業費の高低、類似事業との比較などにより効率性を評価します。
- **効果性**：総合計画実現への効果、目標とする成果に対する達成度を、経年的に把握することや、事業に対する町民のニーズ、計画段階からの町民参画、町民との協働など、町民の視点に立った事業となっているかを評価します。
- **妥当性**：町が実施主体になるべき事業か、他の事業と併せて実施することができないかなど、事務事業実施の妥当性を評価します。

項 目	目標達成度	効果性に対し
評価が高い事業	◎（期待どおり）	80%以上
評価が中位の事業	○（ほぼ達成）	60～80%
評価が低い事業	△（期待以下）	60%以上

2. 総合評価

総合評価は、1の「事業の評価」を踏まえ事務事業毎に今後の方向性を検討していきます。

拡 充	対象の拡大や手段の充実により事業を拡充し、さらに成果の向上を図る。	A
継 続	現状の状態が成果があがっているため、効率化に努めながら事業を継続する。	B
改善・縮小	対象や手段の変更、手段の絞り込み等により見直しを図り、事業の適性化・コスト削減また成果の向上を図る。	C
統合あるいは 休止・廃止	事業目的の意義の低下または社会情勢の変化により、事業を一時的に中断・廃止するもの。または、目的が関連・類似する他の事業への整理・統合するもの。	D

事務事業毎個別評価表

◎学校教育指導の方針と重点

学務課関係 NO.1

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評 価 (事業の評価・今後の方向性)		
スクールサポーター 配置事業	教育上特別な支援を必要とする児童生徒及び悩みや不安を抱える児童生徒に対し、学校生活上の支援や学習活動上の支援、相談活動などを行う支援員を小中学校に配置する。	<p>小中学校の通常学級に在籍する多動傾向や介助を必要とする児童生徒に、学級担任のサポートとして配置した。</p> <p>なお、各校1名ずつ配置し、年間で1名あたり950時間程度の勤務とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置校 全12校(各1名) ・事業費 小学校配置(8名) 7,346,240円 中学校配置(4名) 3,818,120円 合計 11,164,360円 	<p>学級担任をサポートすることにより、担任や他の児童生徒が授業に集中でき、児童生徒へ目の行き届いた指導を行うことができた。</p> <p>教育上特別な支援を必要とする児童生徒及び悩みや不安を抱える児童生徒への支援の必要性が高まってきている。</p> <p>そのため、学校規模やニーズに応じたスクールサポーターの人数等についても検討する必要がある。</p>		
			1-(1)	事業の評価	◎
スクールカウンセラー 配置事業	学校における教育相談体制の充実や教員の資質向上を図るため、臨床心理に関して高度で専門的な知識及び経験を有するスクールカウンセラーを配置する。(県の事業)	<p>児童生徒へのカウンセリング、教職員及び保護者に対するカウンセリング等(指導方針や子育てに関することなど)助言・援助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置・派遣校 南部中・福地中・向小 ・配置時間 320時間/年間 ・事業費 県費負担 	<p>児童生徒にはアンケート方式で相談活動を実施したため、効率的なカウンセリングができた。</p> <p>また、学期の始めに相談カードを配布するなど、問題が起こる前の自主相談や教師からの薦めを促すことにより、予防的な相談活動を重点的に行ったため欠席者や不登校者の減少につながった。</p> <p>校内研修等によるスクールカウンセラーの活用が効果的であったため、集団でのカウンセリング(グループエンカウンター)の機会も多く設けていく必要がある。</p>		
			1-(1)	事業の評価	◎
小学生国内交流事業	南部氏の縁に結ばれた山梨県南部町の児童との交流をとおしてふるさとの歴史や自然等について、理解を深めるとともに、新しい時代の主役となる児童の友情や郷土愛を育むことを目的とする。	<p>山梨県南部町の児童が来町する予定が、東日本大震災の影響により、中止となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当町参加児童 30名(5・6学年) ・事業費 85,000円 ・参加者負担金 - 	<p>東日本大震災の影響により、相互訪問ができなかったが児童の作品を制作・交換する交流を継続したことにより、次年度以降へつなげることができた。</p>		
			1-(1)	事業の評価	◎

学務課関係 NO.2

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評 価 (事業の評価・今後の方向性)			
就学指導委員会事業	<p>幼児及び児童生徒の状況について、専門的調査および検査の実施や、就学機関等の適切な教育措置についての判断を行う。</p> <p>特別の支援を要する幼児及び児童生徒の就学に係る教育相談を実施する</p>	<p>・判定件数 幼児 11件 児童 10件 生徒 6件</p>	<p>就学指導業務は、専門的知識が必要なことから養護学校等の県の特別支援教育に関わる先生にも依頼している。</p> <p>各保育園、各幼稚園、各小中学校からの相談件数について、専門的な調査・検査判断をし、各学校において保護者等への就学指導・相談業務を円滑に実施することができた。</p> <p>個に応じた対応をしていくために、早い時期からの判定を実施するなど、保護者への周知と理解が必要である。</p>			
就学援助事業	<p>児童生徒に対し、学用品費・修学旅行費、給食費等を援助し、義務教育の円滑な実施を図る。</p> <p>H23 認定基準</p> <p>○要保護者：生活保護受給者</p> <p>○準要保護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活保護受給停止または廃止 ・町民税非課税世帯 ・世帯全員が国民年金保険料を免除 ・児童扶養手当を全額受給 ・災害その他の理由により国保税・世帯全員の町民税を減免 ・世帯の経済状態が悪く、学校納付金の支払が困難(収入指数1.3未満) 	<p>○要保護児童生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定者 (小) 10名 (中) 4名 ・事業費 (小) 92,980円 (中) 89,183円 <p>○準要保護児童生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定者 (小) 100名 (中) 78名 ・事業費 (小) 7,511,635円 (中) 6,866,878円 <p>※要保護児童生徒に係る事業費の1/2以内で国庫補助金交付</p>	<p>就学する上で経済的支援が図られた。</p> <p>社会全体の経済状況、また、他事業との関連性等を考慮しながら本事業の認定基準等について再検討する必要がある。</p>			
学校の芸術文化活動事業	<p>文化庁の事業として実施されている「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」を活用し、小中学校から希望を募り実施する。</p> <p>本事業は、文化庁の照会に対して、学校が文化芸術体験の事業を企画・応募し、審査の結果により実施される事業である。</p>	<p>○小学校2校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶道 福地小学校 3・5・6学年 ・えんぶり 杉沢小学校 4・5・6学年 (クラブ活動) 	<p>伝統芸能の「えんぶり」や茶道の指導を受け、児童が芸術・文化と接することができたことにより、感性を養い、創造性を育むことができた。</p> <p>また、地域に伝わる伝統芸能を体験することにより、地域への関心と郷土愛が深まった。</p> <p>本事業は、文化庁の事業である。今後もさらに文化芸術に親しむ機会を創っていく必要がある。</p>			

学務課関係 NO.3

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評 価 (事業の評価・今後の方向性)		
学校施設管理事業	幼稚園・小学校・中学校の学校施設を良好に維持していくために、施設管理業務、維持補修及び改修工事を実施し、健全な学校生活環境の整備を行う。	小中学校の修繕等・施設整備工事の施工 ・施設修繕 3,574千円 小中学校12校の施設修繕 ・施設整備 45,601千円 剣吉小学校グラウンド整備工事ほか12件	計画に計上された小中学校の修繕及び管理業務の他、施設整備工事を施工し、学校の環境整備を図った。 施設の老朽化により修繕が必要な箇所や、利便性向上のための改修箇所がまだあるため、今後も安全確保のための施設改修工事、維持工事を行っていく必要がある。 また、殆どの学校が災害避難所となっていることから、防災機能向上を図る施設改修についても検討する必要がある。		
			1-(3)	事業の評価	◎
奨学金貸付事業	町内に住所を有する者の子で、高等学校以上の学校に在学し、勉学の意欲を有し、心身共に健康で、かつ経済上の理由で就学が困難と認められる者に対し、就学に必要な資金を貸し付けることにより有能な人材の育成に努める。	・貸付状況 新規採用者 13名 ○平成23年度実績 ・貸付人数 (73名) 高等学校 18名・専門学校 9名 短期大学 3名・大学 51名 ・貸付総額 30,530,000円 ・滞納状況 一般会計 30名 6,645,250円 奨学基金 13名 3,669,500円	将来を担う生徒が就学するための手助けとなった。 経済上の理由から就学のための資金を必要としている者への貸付として、事業の継続が必要である。 現在、貸付の決定は採用基準により実施している。 今後、貸付事業を継続していくための資金を確保する必要があることから、採用基準の検討や滞納者への返還を強く働きかけていく。		
			1-(6)	事業の評価	◎
特別支援教育就学奨励費補助事業	小中学校の特別支援学級に在籍する児童・生徒の世帯の所得に応じて、学用品費・給食費等の補助を行う。	・認定者数 (小) 2名 (中) 5名 ・事業費 (小) 71,200円 (中) 230,730円 ※事業費の1/2以内で国庫補助金交付	特別支援学級に在籍する児童生徒を持つ保護者の経済的負担を軽減できた。 障害をもった児童生徒の保護者の経済的負担の軽減ができる事業であるため、今後も継続していく。		
			1-(7)	事業の評価	◎

学務課関係 NO.4

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評 価 (事業の評価・今後の方向性)			
中学生海外派遣 事業	<p>研修テーマは「町の代表として、恥ずかしくないようにたくさんのことを学んでくる」を心に刻み、海外の歴史や文化・産業等の視察や現地の学生と交流を行う。</p> <p>また、ホームステイの体験を通して自主自立の目覚め、日々の学習意欲の向上を促す。</p> <p>町では、訪問国の歴史・文化・産業などの視察、国際協力の精神かん養、健全育成を図ることを目的としている。</p>	<p>町内4中学校の2学年から参加生徒を選抜し、6泊8日の日程でアメリカ合衆国ハワイ州に派遣した。</p> <p>現地では、ホームステイや体験型語学研修として学生と交流を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣期間 7/27～8/3 ・募集人員 40名 ・参加生徒数 27名 ・事業費 9,692,270円 (参加者負担金 2,430,000円) 	<p>中学生という多感な時期に海外を訪問することにより、広い視野を持ち、各学校のリーダーとしての意識を持ち、積極的に学校内外の活動に取り組む姿勢等が伺える。</p> <p>また、町内の4中学校の生徒が交流する貴重な機会である。</p> <p>平成25年度からは、生徒数の減少等により、事業の内容について、見直しが必要となる。</p>			
			1-(9)	事業の評価	○	総合評価
語学指導外国語青年招致事業	<p>英語を母国語とする外国語指導助手が生徒の身近にいることにより、英会話能力の向上及び興味・関心を持つことが期待されている。</p>	<p>町内の各地区に1名ずつ計3名を幼稚園・小中学校の英語指導の助手として配置した。</p> <p>幼稚園では、月2回程度園児が英語に慣れるよう、発音練習や英語の唄を歌う等の指導を行った。</p> <p>小中学校へは毎週訪問し、授業の他英会話スピーチコンテスト、中学生海外派遣事業の英会話指導を行った。</p>	<p>外国語指導助手の活用により、授業の資質の向上や児童生徒の学力向上、また幼稚園の英語教育の指導体制の充実が図られている。</p> <p>平成23年度から新学習指導要領となり、小学校5・6年生の英語が必修となり、小学校低学年への英語学習についてどのように対応していくかの検討が必要となる。</p> <p>また、近年ではグローバル化に対応できる人材が求められているため、子ども達の英語に対する興味や、英語を「聞く・話す」といったオーラルコミュニケーションについて、外国語指導助手をどのように活用していくか検討する必要がある。</p>			
			1-(9)	事業の評価	◎	総合評価
教職員研修事業	<p>教職員新採用者に対して、南部町の教育課題・文化歴史等について理解を深めてもらうことを目的に実施する。</p> <p>研修で南部町の歴史、文化、各種事業の内容を理解し、学習指導に取り入れて教職員の認識向上を図る。</p>	<p>平成23年度は、新採用者がいなかったため実施なし。</p> <p>平成20年度までは、新任者も研修対象としていたが、平成21年度からは対象外としている。</p>	<p>児童生徒の学習指導に役立つような研修内容(文化・歴史)になるよう、受講者の声・意見を聞きながら今後のステップアップを図るよう内容を充実させていく。</p>			
			1-(10)	事業の評価	—	総合評価

学務課関係 NO.5

事務事業名 <small>学校教育指導の重点との関連</small>	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評 価 (事業の評価・今後の方向性)			
幼稚園就園奨励費 補助事業	幼稚園教育の推進を図るため、また、就園幼児のいる世帯の経済的負担を軽減するため世帯の所得状況に応じて町立幼稚園は保育料の減免をする。 私立幼稚園には、補助金を交付している。	○町立幼稚園 ・対象者 4名 ・事業費 125,000円 ○私立幼稚園 ・対象者 41名 ・事業費 4,545,600円 (事業費の1/3以内で国庫補助金が交付)	経済的負担が軽減された。 幼稚園に就園する幼児のいる世帯の経済的負担が軽減されることから、今後も継続が必要である。			
			1-(13)	事業の評価	◎	総合評価

幼稚園関係 NO.1

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評 価 (事業の評価・今後の方向性)			
教育課程 (名川幼稚園)	<p>幼稚園教育要領について共通理解を深め、本園の指導計画の充実に努める。 教育目標：「げんきにたのしくあそぶこども」</p> <p>○幼稚園入園児数 46名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 5歳児 19名 ・ 4歳児 15名 ・ 3歳児 12名 </p>	<p>教師の役割として、人的・物的環境だけでなく、空間的環境などの面で個に応じた指導についての共通理解を図っている。</p> <p>園児の興味、関心を喚起する生き物体験（飼育、栽培）を重視した指導。</p> <p>・町のイベントに参加 5/3 春まつり（稚児行列：5歳児） 9/8/・9/10秋まつり（山車：全園児） 9/16 ぶどう狩り：5歳児</p>	<p>生き物体験活動に積極的に取り組んでいる。また、町のイベントは保護者も積極的に参加している。</p> <p>創造性や言語能力の向上を目指し、自発的な遊びを通し総合的な指導から一人ひとりの発達の特性に合った指導に努める。</p>			
1-(13)			事業の評価	○	総合評価	A
教育課程 (南部幼稚園)	<p>年長児（5歳児）年中児（4歳児）・の混合クラスと、年少児（3歳児）の2クラスの編制とし、3年間で12期に分けた指導計画の充実に努める。</p> <p>○幼稚園入園児数 19名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 5歳児 6名 ・ 4歳児 6名 ・ 3歳児 7名 </p>	<p>異年齢交流や老人施設訪問を実施。また、「園児と保護者」を対象に、専門機関を加え、園内研修の食育指導を実施した。</p> <p>・老人施設訪問 12/19 老健なんぶ</p> <p>・食育指導 給食センター栄養士による食育指導 6/21 親子バイキング 9/6 親子クッキング教室</p>	<p>園内研修に「幼小連携」を加え、職員が小学校の授業参観や幼稚園の保育参観をし、園児がスムーズに移行できるように研修会に参加した。</p> <p>教育課程にどのように取り入れて継続していくか課題となっている。</p>			
1-(13)			事業の評価	○	総合評価	A
発表会 (おゆうぎ会) (名川幼稚園)	<p>開園以来続けている行事のひとつで、友達と歌や楽器、劇、語り、遊戯などを通して、園児の成長を保護者に見てもらおう会である。</p>	<p>沢山の観客の前で、これまでに積み重ねてきた表現活動を友達と一緒に発表でき園児が楽しんでいる。</p> <p>・実施日 12/11 ・参加園児 46名 ・中学生ボランティア 14名 名川中学生：3年5名、2年9名 ・事業費 20,746円</p>	<p>発表会を経験することで表現することに興味・関心を持ち、友達とのつながりも一層強くなり、自信を持たせることができた。</p> <p>この行事は、保護者の関心も高く、例年高い評価を得ている。</p> <p>中学生ボランティアによる準備や園児の世話にととても感謝している。</p> <p>発表内容によっては衣装の製作が必要となるので、限られた予算内での対応に苦慮している。</p>			
1-(13)			事業の評価	○	総合評価	B

幼稚園関係 NO.2

事務事業名 <small>学校教育指導の重点との関連</small>	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評 価 (事業の評価・今後の方向性)			
生活発表会 (南部幼稚園)	毎日の幼稚園生活での活動を劇やおゆうぎ・歌・楽器演奏などの表現を通して、園児の成長を保護者に見てもらおう会である。	<p>あいさつは、ALTによる月2回の英語教室で覚えた英語で発表した。</p> <p>工夫しながら衣装や道具の制作に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 12/11 ・参加園児 18名 ・事業費 7,740円 	<p>発表会では、生き生きと発表することができた。また、友達と協力し合うことにより、組全体で取り組む意欲につながった。</p> <p>この行事は、保護者の関心も高く、例年高い評価を得ている。</p> <p>園児の興味・関心を発表することに向けて、力を十分発揮して友だちとやり遂げた達成感を味あわせ、感性豊かな園児を育成していきたい。</p>			
1-(13)			事業の評価	◎	総合評価	B
お泊まり保育 (名川幼稚園)	幼稚園に宿泊をしての共同生活は「何でも自分でやろう」という目標のもと、園児の自立に対する自信を持たせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・お泊まり保育 7/21~22 5歳児19名 共同生活により自立への自信を持たせる。 夕食、朝食の配ぜんの準備 就寝時のあいさつや準備 ・列車乗車体験 7/21 剣吉駅~三戸駅 公共のマナーを身につけさせる。 乗車券の購入の仕方、車内のマナー ・事業費 1,500円 (参加費：朝食・夕食・乗車券・製作代金等) 	<p>開園以来継続して実施しており、お泊まり会を体験することで、園児に一人で泊まれたという自信と達成感が見られる。</p> <p>自宅以外の環境に泊まる保育を体験することにより、友達と協力し合いながら楽しく過ごすことができた。</p> <p>園児より保護者の方が不安を抱く場合が見られるため保護者に対しては、園だより等を通して説明をし理解と協力を得ている。このお泊まり保育は、園児の成長過程において貴重な体験となるので今後も継続して実施していく。</p>			
1-(13)			事業の評価	◎	総合評価	B
お泊まり保育 (南部幼稚園)	いつもと異なる環境の中での集団生活（お泊まり保育）を通して望ましい人間関係の育成を図り、自立への自信を持たせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・お泊まり保育 7/16~17 5歳児7名 共同生活により自立への自信を持たせる。 夕食、朝食の配ぜんの準備 就寝時のあいさつや準備 ・事業費 2,400円 (参加費：朝食・夕食・製作代金等) <p>※年中児は夜店ごっことキャンプファイヤーまで参加（参加費：700円）</p>	<p>初めての経験であったが、親元を離れて友達と協力し合いながら楽しく過ごすことができた。</p> <p>収穫した野菜の調理や就寝の準備など、自分のことは自分で出来るという自立に対する自信を持つことが出来た。</p> <p>お泊まりに対して、子供だけでなく保護者も不安感があるようなので、事前に前年度のお泊まり保育の話聞かせたり、写真を見せたりするなど、保護者の不安を取り除くことが大切である。</p> <p>園児は、友達との交流を深め、自信がつく行事であり今後も継続していきたい。</p>			
1-(13)			事業の評価	◎	総合評価	B

幼稚園関係 NO.3

事務事業名 <small>学校教育指導の重点との関連</small>	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評 価 (事業の評価・今後の方向性)			
運動会 (名川幼稚園)	「家族みんなで参加し楽しめる運動会」をねらいとし、父母・兄弟・祖父母も参加できる競技を組み入れている。	<p>5歳児には、一人一役ということで団長をはじめ、国旗、園旗、団旗、選手宣誓など、いろいろな役割分担で参加している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 10/2 ・参加園児 46名 ・事業費 16,560円(賞品) 	<p>運動会を経験したことにより、身体を動かすことや競争することに興味や関心を持つことができた。</p> <p>体を動かすことに興味を持って参加できるように、競技環境構成を工夫し、園児にとって楽しい思い出になるようにしていきたい。</p> <p>保護者の協力が必要となるので、保護者の意見も取り入れながら進めている。</p>			
1-(13)			事業の評価	◎	総合評価	B
運動会 (南部幼稚園)	園児が運動会前から当日まで楽しく活動が展開できるよう進めている。	<p>園児と保護者が一体となった運動会となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 10/2 ・参加園児 19名 ・事業費 8,640円(賞品) 	<p>運動的な遊びや活動から種目の内容を考えるなどしているが、園児数が少ないため、種目の参加が十分達成できた。</p> <p>園児数が少ないため、園児と保護者一体の運動会づくりをし、環境構成の工夫に努めた。</p> <p>運動を通して自らの生命を守ることやよく寝る・よく遊ぶ・よく食べる、など日々の活動を充実させたい。</p>			
1-(13)			事業の評価	◎	総合評価	B
体験活動 (名川幼稚園)	食に対する体験活動や飼育図鑑を活用しながら、生命の大切さや飼育への興味を持たせる。	<p>金魚や熱帯魚、亀などのほかに、ザリガニ、オタマジャクシ、クワガタ虫やカブト虫の成長の様子の観察や飼育をしている。</p> <p>畑では枝豆、ジャガイモ、サツマイモなどを5歳児が中心となり栽培、収穫は全園児が行い、落ち葉集めなどをし焼き芋会を実施した。</p>	<p>観察飼育について、苦手な園児の個人差はあるが少しずつ慣れ親しんでいる。</p> <p>栽培収穫を通して、家族間のコミュニケーションが増え食育に連動している。</p> <p>飼育物の世話により「生」と「死」の大切さに気づかせることや、畑での栽培・収穫体験を通して、「食べる」ということに一層興味と関心が持てるようにしたい。</p>			
1-(13)			事業の評価	◎	総合評価	B

事務事業毎個別評価表

◎社会教育指導の方針と重点

社会教育課関係 NO.1

事務事業名 社会教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評 価 (事業の評価・今後の方向性)			
学校と地域ネット推進事業	町内小・中学校の要望に応じて、各分野の専門家・愛好家の方々に授業等の学校教育活動に参加してもらうことにより、児童生徒の基礎的・基本的事項の定着を図り、あわせて地域に対する愛着の心を育む。	学校の要望に応じて講師(ゲストティーチャー)を依頼、派遣した。 ・対象 児童・生徒及び一般 ・参加者数 講師22名 学習者延べ1,588名 ・回数 142回 ・事業費 町単独 225,000円	この事業を利用する学校が増えている。 学校からは教育効果の向上につながると好評であり、社会教育では多くの地域人材の登用により地域の教育力の向上が図られた。 地域の文化・歴史等の人材を活用した教育や地元のスポーツの指導者を活用した教育は、学校教育・社会教育ともに学習効果は大きいため、事業は継続していく。			
文化賞・スポーツ賞表彰	文化、スポーツに功績があった方(団体・個人)、また、顕著な成績をおさめた方(団体・個人)を表彰する。	文化の向上、体育・スポーツ振興に功績があった方を表彰した。 文化功労賞、文化賞、文化奨励賞 スポーツ功労賞、スポーツ賞、スポーツ奨励賞の表彰 ・被表彰者 個人149名 団体1団体 ・事業費 町単独 225,000円	受賞者には、今後の励みとなった。 町の活性化、人材育成が促進されたことが大である。 町民の模範とみられる功績があった方々への賞であることから継続していく。			
学校支援地域本部事業(国・県補助事業)	国・県の補助事業として、2年間継続して実施する。 ボランティア活動が円滑に行われる体制づくりや地域住民が積極的に学校を支援し、地域の教育力向上を図ることを目的としている。	町内小・中学校12校全校で実施され、コーディネーターへの働きかけにより、円滑に事業が行われた。 ・学校支援コーディネーターの活動 コーディネーター会議 : 年7回 コーディネーター研修会 : 10/26 ・事業費 国1/3、県1/3、町1/3 1,083,000円	県の研修会等によりコーディネーターの資質と能力の向上を図りながら、ボランティアによる学校支援活動が円滑に行なわれた。 校外活動の見守りや草刈りなどの環境整備、学校図書室の本の整理や台帳整備、調理実習の補助など教師の手が届かない部分を補うような活動が特徴といえる。 文科省・県教委共に学校と地域の協働による教育活動を推進していることから事業は継続していく。			

社会教育課関係 NO.2

事務事業名 社会教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評 価 (事業の評価・今後の方向性)			
青年教室	時代の進展に即する知識・技能の習得、集団の社会生活における自己の役割と責任の自覚を養う事を目的に青年教室を開催する。	基本操作から様々なソフトの活用法を学ぶパソコン教室を開催した。 参加者の成果をスライドで作成し成人式で発表した。 ・参加者数 延べ22名 ・回 数 3回 ・事業費 - ・開催場所 中央公民館	<p>興味関心の多様化などにより、近年、開催が難しくなっている。</p> <p>町では成人式の実行委員会など青年が集まる機会をつくり、教室を開催してきた。しかし、開催時期が限定され、年間を通したものはなっていない。</p> <p>今後は、町の青年組織等の情報を得ながら、時期や内容など青年のニーズに即し魅力あるものとし、お互いの誘い合いなどにより参加者の増加を図り、事業を継続していく。</p>			
2-(2)			事業の評価	○	総合評価	B
家庭教育セミナー	町内の幼児のいる保護者を対象に子育てに関する養育のあり方の向上を目的に、講座を開催する。	中央公民館の読み聞かせ事業と連携協力し、町内乳幼児施設などでの行事と併せて開催した。 ・参加者数 延べ300名 ・回 数 5回 ・事業費 - ・開催場所 町内乳幼児施設	<p>読み聞かせの普及や子育てに関する養育のあり方の向上を目指す事業として行った。</p> <p>参加者のアンケートによると概ね好評で、もっと多くの開催を望む声が多く、内容も良く非常に有意義であったとの意見が寄せられました。</p> <p>絵本の読み聞かせによる子どもとの触れあいの必要性など、保護者の子育てに関する資質の向上を図るうえでも継続していく。</p>			
2-(2)			事業の評価	○	総合評価	B
ふるさと「学習」キャンプ	ふるさとの自然を体験し、同年代世代間の交流を深め、子どもの豊かな人間性を育むことを目的とする。	・共同生活体験 ・野外炊事体験 ・工作体験 ・参加者数 15名 (5～6年) ・実施日 8/7～8/8 1泊2日 ・事業費 46,000円 ・開催場所 名川チェリリン村 名川B & G海洋センター	<p>野外でのテント生活やドラム缶風呂など、日頃体験できないプログラムのほか、自然を利用したツリーイング、地域人材を活用した炊事など、様々なプログラムを設定し、同世代や世代間・地域の方々との交流が図られた。</p> <p>高校生リーダーや町青年団、食生活改善推進員のみなさんとの交流により、様々な体験活動の機会を通し、社会性や自主性、豊かな人間性を育む効果は大きい。</p> <p>子どもたちの感想文から、体験活動の楽しさのもとより、多くの人とのふれあいがあることが、子どもに豊かな人間性を育む機会を与えると共に、地域の教育力向上の一助になっていることが伺えることから、事業の拡大充実が望まれる。</p>			
2-(2)			事業の評価	○	総合評価	A

社会教育課関係 NO.3

事務事業名 社会教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評 価 (事業の評価・今後の方向性)			
家庭教育講座(県委託事業により23年度終了)	<p>家庭教育講座を通じて、保護者同士のつながりを創りながら、子育てに関する資質の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 ワークショップ ・第2回 講話 ・第3回 講話 ・第4回 ワークショップ 	<p>親同士のつながりを目的に、家庭教育に関する講座を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 167名 ・回数 4回 ・実施日 7/ 5 名川幼稚園 <li style="padding-left: 20px;">10/14 チェリー保育園 <li style="padding-left: 20px;">10/20 名川幼稚園 <li style="padding-left: 20px;">2/ 8 名川幼稚園 ・事業費 50,000円 ・開催場所 町内乳幼児施設 	<p>現在、保護者が抱えている問題点に対して、子どもへの接し方、親同士のつながりの必要性や成長の見守り方など様々な内容の学習ができた。</p> <p>家庭教育の大切さの意識の向上を図ることができた。</p> <p>この事業は県の委託事業であるため今年度限りとなるが、今後は家庭教育セミナーに統括される。</p>			
2-(2)			事業の評価	◎	総合評価	A
成人式	<p>大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする新成人を祝い、励ますことを目的としている。</p>	<p>式典は、 主催「南部町」 主管「南部町教育委員会」 後援「南部町連合青年団」 で開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アトラクションの部 式実行委員会によるスライド上映及び町内音楽グループによる演奏 ・地区別による記念撮影 <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 (241名) 南部町内在住者及び町内中学校卒業生 ・参加者数 193名 出席率80.1% ・開催日 1/9 ・事業費 399,000円 ・開催場所 町民ホール 	<p>南部町の成人式は、新成人有志と町連合青年団により実行委員会が組織され行なわれている。</p> <p>これにより、これまで課題となっていた新成人が成人式に自発的に参画できる状況や、プロセスへの関わりが可能となった。</p> <p>対象者の出席率が8割を超えている状況は近隣市町村の中でも高い数値といえる。</p> <p>今年度は、実行委員による司会進行や受付、アトラクションでのスライド上映など多くを担った。</p> <p>今後も、実行委員会を持ち南部町の特色を見出し、連合青年団の協力を得て実施していく。</p>			
2-(2)			事業の評価	◎	総合評価	A

社会教育課関係 NO.4

事務事業名 社会教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評 価 (事業の評価・今後の方向性)				
南部ふるさと塾	<p>ふるさとの歴史・伝統・文化を学ぶための歴史講座を開催する。</p> <p>○アウトドア編 第1弾 発掘体験！南部氏の居城を掘る 第2弾 南部ふるさと塾鹿角街道ウォーク 第3弾 南部ふるさと塾奥州街道ウォーク (台風15号で中止)</p> <p>○歴史講演編 第1回講座 講師 菊池勇夫氏 第2回講座 講師 榊原滋高氏 第3回講座 講師 永井 治氏 第4回講座 講師 北川達男氏</p>	<p>平成23年度はアウトドア編として、館跡を身近に感じてもらうため町民を対象に、初の体験発掘を実施した。 また、街道ウォークの企画や歴史講演を実施した。</p> <p>○アウトドア編 ・第1弾 7/23 参加者：15名 ・第2弾 10/29 参加者：12名 ・第3弾 台風15号で中止</p> <p>○歴史講演編 ・第1回講座 11/29 参加者：51名 ・第2回講座 12/ 3 参加者：53名 ・第3回講座 1/28 参加者：35名 ・第4回講座 2/ 4 参加者：34名</p> <p>・事業費 150,000円 ・開催場所 農村環境改善センター福寿館</p>	<p>今年度はアウトドア編を設け、初の試みとなる一般町民を対象とした体験発掘を盛り込んだ。</p> <p>およそ90%弱がリピーターだが、10%強の新規参加者があり、新規の開拓に一定の成果が認められた。</p> <p>史跡聖寿寺館跡の5年間の調査成果報告会を開催し、広報に努めた。</p> <p>年代別にみると、60代以上が90%を占め、50代以下の壮年層の取り組みが今後の課題である。</p> <p>会場の福寿館は、暖房や照明・音響も良好であったが、駐車場が狭いため会場を変更して対応したい。</p> <p>アンケートの実施結果は、全員から次回も参加したいとの回答を得た。更に内容を充実させて事業を拡大したい。</p>	事業の評価	◎	総合評価	A
2-(2)							
女性学級	<p>町内の女性が広く教養を身につけ資質・能力の向上を図ることを目的とする。</p>	<p>介護サービスの利用のしかた、青森市内視察、ルーシーダットン教室、郷土料理教室の講座を開催した。</p> <p>・回数 4回 ・参加者数 延べ86名 ・事業費 10,000円 ・開催場所 中央公民館・南部公民館他</p> <p>※ルーシーダットン(タイ式ヨガ)</p>	<p>女性の地域における社会連携意識の確立や形成、資質・能力の向上にむけて、この事業は非常に有効である。</p> <p>町連合婦人会が主体となり講座の計画や周知等、自主的な運営で開催されている。</p> <p>今回、新たに行なわれた「ルーシーダットン教室」については、一般参加者を募ったが、周知不足もあり、婦人会以外の参加者は4名と少数であった。</p> <p>今後は、講座の企画及び募集方法等を再考し、内容の充実を図るとともに講座開催に向けた企画委員会を組織したい。</p>	事業の評価	◎	総合評価	B
2-(2)							

事務事業毎個別評価表

◎文化財保護行政の方針と重点

史跡対策室・社会教育課関係 NO.1

事務事業名 文化財保護行政の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評 価 (事業の評価・今後の方向性)			
町内文化財パトロール事業	<p>文化財保護法の趣旨に基づき、町内に所在する文化財の現状の把握と保護活動に努める。</p> <p>主な業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺跡の範囲変更及び新規遺跡の登録 ・土地開発等による埋蔵文化財の破壊や盗掘の有無の確認 	<p>埋蔵文化財の現状を、踏査・情報収集により把握し、県文化財保護指導員と共に保護活動(パトロール)を実施した。</p> <p>○平成23年度の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風15号の水増しによる遺跡への被害状況の把握 ・遺跡や文化財等の標柱の破壊状況の把握 ・遺跡の位置と範囲の確認 <p>○パトロール件数 埋蔵文化財：19遺跡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上ノ山遺跡・馬場遺跡・二又遺跡・南古牧遺跡・鱒沢遺跡・聖寿寺館跡・苔米地遺跡・福田古館跡・福田館跡・矢崎館跡・平館跡・柏木久保遺跡・寺下遺跡・堀渡遺跡・斗賀山(1)遺跡・斗賀山(2)遺跡・堤ヶ沢遺跡・上水沢遺跡・外林遺跡 <p>・事業費 ー</p> <p>・実施日 通年</p>	<p>台風15号の水増しにより、苔米地館跡の周辺部分のアスファルト・手すり等の破損、馬場館跡の標柱の破損を確認。</p> <p>苔米地館跡の周辺部分のアスファルト・手すり等の破損については、平成24年度で修復予定。</p> <p>馬場館跡の標柱の破損については、平成24年度以降に修復予定。</p> <p>奥州街道沿いにある地獄澤土橋跡の標柱も倒壊の恐れがあるため、パトロールを実施していく。</p> <p>今後も継続して、文化財パトロールを実施する必要がある。</p>			
奥州街道の整備・活用・普及事業	<p>奥州街道を歩きながら、町の歴史を楽しく学ぶ。</p>	<p>対象が児童である場合が多いため、安全管理を十分考慮して実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥州街道の刈り払い(年2回) ・奥州街道ウォーク実施 10/1 南部ふるさと塾奥州街道ウォーク(台風15号による土砂崩れのため中止) 10/27 向小学校6年生奥州街道ウォーク 参加者：39名 ・事業費 ー 	<p>街道を歩いて、町の歴史を楽しく学ぶことは、児童にとって新鮮に歴史が目に映り感動したようである。大いに評価できる事業である。</p> <p>体験型学習としては、体験発掘調査と同様に郷土の歴史を学ぶ効果的な方法である。今後も町内各学校と連携しながら、郷土史を楽しく学ぶ企画を提案したい。</p> <p>奥州街道については、問い合わせが多いため、鹿角街道とあわせ、新規にパンフレットの作成も検討する。</p>			

史跡対策室・社会教育課関係 NO.2

事務事業名 文化財保護行政の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評 価 (事業の評価・今後の方向性)					
国史跡「聖寿寺館跡」の活用(見学・体験発掘・出前授業)	<p>各学校で事業内容を説明し、町内小学校全校が体験発掘に参加できるように努める。</p> <p>対象が児童であるため、安全管理に十分考慮する。</p>	<p>史跡聖寿寺館跡の見学・体験発掘や郷土史学習出前授業を通して、PR・普及活動を実施。</p> <p>○体験発掘 小学校 6校、 一般 1回 参加者数 174名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6/22 福地小学校6年体験発掘 23名 ・ 7/8 名川南小学校5・6年生体験発掘 12名 ・ 7/13 向小学校6年生体験発掘 37名 ・ 7/16 福田小学校親子体験発掘 59名 ・ 7/23 南部ふるさと塾アウトドア編体験発掘(一般) 15名 ・ 8/29 杉沢小学校6年生体験発掘 10名 ・ 10/31 南部小学校6年生体験発掘 18名 <p>○出前授業 小学校 3校 参加者数 85名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4/25 向小学校6年生縄文学習出前授業35名 ・ 6/28 南部小学校6年生郷土史出前授業20名 ・ 12/14 向小学校4年生郷土史学習出前授業32名 <p>・ 事業費 ー</p>	<p>対象が児童であるため、安全管理には十分考慮して実施した。</p> <p>体験発掘参加校は、昨年より2校多い参加となった。 学校への事業内容の説明を実施し、小学校全校が参加できる状況を図っていく。</p> <p>郷土史学習の出前授業は、今年度から3校で実施した。 今後、全校で実施できるよう学校に働きかけていく。</p> <p>学校教育の枠内では、歴史教育は中央史のみに重点が置かれ、地方史は軽視されている現状がある。</p> <p>この事業は、地元の歴史をとらえることは大切であり、その地域の歴史や文化を学ぶことは必要不可欠であり、体験型歴史学習として体験発掘は記憶に残る効果的な学習方法である。</p> <p>今後も町内の学校と連携し、児童・生徒に郷土の歴史を学ぶ機会・体験する機会を提供し、郷土に誇りをもてるような郷土史学習を推進していきたい。</p>					
	4-(2)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">実績の評価</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">◎</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">総合評価</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">A</td> </tr> </table>				実績の評価	◎	総合評価
実績の評価	◎	総合評価	A					

史跡対策室・社会教育課関係 NO.3

事務事業名 <small>文化財保護行政の重点との関連</small>	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評 価 <small>(事業の評価・今後の方向性)</small>				
国史跡「聖寿寺館跡」の発掘調査	<p>国史跡聖寿寺館跡の整備基本計画策定を目的とした発掘調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 発掘調査期間 6/13～10/31 遺物整理・報告書作成期間 11/1～3/31 調査面積 約582㎡ 調査位置 城館平場西部～中央部 <p>PR・普及活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 発掘調査現地説明会 9/17 参加者約26名 発掘調査報告会 1/28 参加者35名 	<p>○調査の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 遺構 堀立柱建物跡数軒・竪穴建物跡2基 土壇2基、溝跡2条 遺物 陶磁器、銭貨、金属製品、石製品 <p>○調査内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 堀立柱建物が検出された、平成13年度調査区の南側に設定(柱穴を多数検出) 威信財と考えられる青磁酒会壺が出土(酒会壺の出土は尻八館跡に続き県内2例目となる。) 威信財と考えられる青磁鉄斑文瓶が出土(H24.10.29記者発表) 事業費 6,697,325円 (補助対象6,000,000円の1/2) 	<p>日本列島の中でも非常に発掘例が少ない希少資料が出土した。南部氏の威信財利用と、京都園との結びつきなど当時の流通の解明が期待される。</p> <p>次年度は、整備基本計画策定のため調査を継続し、館跡平場の空間利用の把握に努めたい。</p>				
	4-(3)				実績の評価	◎	総合評価
南部七唄七踊り全国大会	<p>南部七唄七踊りの啓発・普及・後継者育成確保に努める。</p> <p>南部町、南部町教育委員会、南部町観光協会、南部町商工会、南部町文化協会、南部町郷土芸能保存会等の会員が実行委員会を組織して事業を行っている。</p>	<p>年4回実行委員会を開催し、協議のもとに大会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 内 容 七唄小学生の部 七唄中・高生の部 七踊り子どもの部 七踊り大人の部 対 象 各部門毎 回 数 年1回 事業費 町単独 2,900,000円 開催日 9/19 開催場所 町民ホール 	<p>南部地方の郷土芸能として南部七唄七踊りは地域に愛され、大会には毎回多くの観客が詰め掛ける。</p> <p>七踊りについては、出場者が多く予選も行なわれるが、七唄については、唄の難しさもあり、出場者が少なく予選が行なわれなかった。</p> <p>しかし、近年、公民館等で行なわれている子ども教室などにより、七唄に触れる機会が多くなったため、わずかではあるが増加し、今回は七唄の予選も行なわれた。</p> <p>南部七唄七踊りは町の文化財にも指定され、多くの方々に愛されているため、後継者の育成を目的に今後も継続していく。</p>				
	4-(3)				実績の評価	◎	総合評価

史跡対策室・社会教育課関係 NO.4

事務事業名 文化財保護行政の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評 価 (事業の評価・今後の方向性)			
伝統芸能・技術の継承事業	古くから郷土に根ざして継承されてきた芸能を保護し、さらに後世に引き継ぐために後継者の育成に努める団体に対し助成する。	助成団体 ・南部町郷土芸能保存会(3地区) 370,000円 ・無形民俗文化保存・活用事業 260,000円 13団体 ・無形民俗文化財後継者育成事業 180,000円 9団体 ・郷土芸能後継者育成事業(1団体) 450,000円	町指定の無形民俗文化財の保存及び活用のため有効に助成されている。 伝統芸能の保存と次世代への継承には必要不可欠な事業であり、今後も継続していく必要がある。			
			4-(3)	実績の評価	◎	総合評価

事務事業毎個別評価表

公民館関係 NO.1

事務事業名 社会教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評 価 (事業の評価・今後の方向性)			
アロマフィットネス講座	アロマセラピーのリラックス&リフレッシュ効果と、簡単にできるエクササイズを結びつけた運動を通して、健康維持の一助となるように努める。	アロマフィットネスに関する講義と演習を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・登録者数 13名 ・回 数 5回 ・参加者数 延べ47名 ・事業費 50,000円 ・開催場所 福地公民館 	参加者の健康管理・健康づくりに対する意識が高まり、学習意欲も高かった。 新たな講座の開設により、当講座の回数を変更したため、今後は内容の充実や周知方法を工夫しながら、登録者数の拡大に努める。			
2-(3)			事業の評価	○	総合評価	B
着付け教室	日本の伝統ある着物を自分で着付け出来るようになることで、潤いのある生活形成を図る。	着付けに関する講義と実習を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・登録者数 7名 ・回 数 10回 ・参加者数 延べ62名 ・事業費 100,000円 ・開催場所 福地公民館 	登録者は昨年度より減少したが、講師の指導が行き届き、講座の内容も充実し好評を得た。 参加者の学習態度は極めて意欲的で、自主的な運営がなされていた。 事業の目的も達成できた。 今後も同様に継続していく。 講座の周知について工夫しながら登録者数の拡大に努める。			
2-(3)			事業の評価	○	総合評価	B
英会話教室	高校生以上の町民を対象に、国際人としての資質の向上を図るため、英語に親しみ、英語での簡単な日常会話ができるようにし、国際理解の一助とする。	前年度までの中級クラスを趣味の教室に移行し、入門、初級クラスを設けて、レベルに応じた英会話に関する講義と演習を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・登録者数 14名 ・回 数 13回 ・参加者数 延べ147名 ・事業費 221,000円 ・開催場所 福地公民館 	参加者の学習態度は極めて意欲的で、自主的な運営がなされている。 外国人による生きた英語を学ぶ良い機会となるため、今後も継続しながら事業の効果を高める。 参加者のニーズに合わせた内容（講師の選定・学習内容）や周知の仕方を工夫しながら登録者数の拡大を図っていく。			
2-(3)			事業の評価	○	総合評価	B

公民館関係 NO.2

事務事業名 <small>社会教育指導の重点との関連</small>	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)			
ルーシーダットン教室	ルーシーダットン(タイ式ヨガ)の特徴である呼吸法を実践しながら健康維持の一助となるよう努める。	町民の要望により、ルーシーダットンに関する講演と講義を開催した。 ・登録者数 9名 ・回数 5回 ・参加者数 延べ24名 ・事業費 50,000円 ・開催場所 福地公民館	心身の健康管理・健康づくりに効果が大きく、参加者の学習意欲が高い。 町民の強い要望により新たに開催したが、参加者が少なかつ 周知方法・開催日時等が参加者の減少の要因とみられるので、今後の検討課題である。			
2-(3)			事業の評価	○	総合評価	B
ヨガ体験教室 【趣味の教室へ移行】	心と体の健康増進を図る。	ヨガの講話・演習を開催した。 ・登録者数 21名 ・回数 4回(第4回は台風接近のため中止) ・参加者数 延べ68名 ・開催場所 中央公民館	学習意欲が高く心のリフレッシュと身体の健康増進に役立つ講座となった。 教室終了後も継続を希望する者が多く、趣味の教室(後期)へ移行して23年度で廃止とする。			
2-(3)			事業の評価	◎	総合評価	B
おもしろ体験教室	様々な体験活動を行い知識・教養を身につける。	発掘体験教室、星空観望会、町内文化財めぐり、茶道教室、料理教室を開催した。 奥州街道ウォークは、台風接近により中止となった。 ・参加者数 92名 ・回数 5回 ・開催場所 中央公民館 他	対象年齢を幅広く設定したため、参加者が多く、異年齢間の交流も図られた講座となった。 5教室の募集定員の9割以上の参加者が集まり好評であった。 今後も、内容を検討し継続していく。			
2-(3)			事業の評価	◎	総合評価	B
読み聞かせ教室	幼児・児童の保護者を対象に読み聞かせの活動の普及及び振興を図るとともに、読み聞かせの意義の理解を深める。	町内の施設において、毎月第4日曜日、幼児・児童やその保護者を対象に開催した。 ・回数 12回 ・参加者数 延べ72名 ・開催場所 名川中学校図書室1階	読み聞かせの理解が深まり、その効果は非常に大きかった。 一層の参加者増を目指し、情報交換等を行うとともに、普及啓発を図りながら今後も継続していく。			
2-(3)			事業の評価	○	総合評価	B

公民館関係 NO.3

事務事業名 社会教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評 価 (事業の評価・今後の方向性)			
趣味の教室	町民が興味・関心のある教室を開催し、自己の知識・能力の向上を図る。	生け花、エアロビクス、コーラスなど全22の教室を開催した。 ・登録者数 320名 ・回数 22回 (5月～2月まで月2回) ・参加者数 延べ3,801名 ・事業費 1,680,000円 ・開催場所 中央公民館 他	3月には、学習成果を披露する発表会を行った。 受講者からは、「自分にあったスタイルで学習できるのでこれからも参加したい」、「友達づくりが出来て楽しい」との声があった。 各教室は、自主運営によるものであるが、受講者は真剣に取り組んでおり、学習意欲は非常に高く、自己を高める目的に沿った活動となっている。 今後も事業を継続していく。			
2-(3)			事業の評価	◎	総合評価	B

事務事業毎個別評価表

体育館関係 NO.1

事務事業名 社会教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評 価 (事業の評価・今後の方向性)		
第5回町民運動会	町民の健康維持・増進と親睦を図り、明日への活力を養う。	<p>台風15号の影響により町内各地で馬淵川が氾濫、床上・床下浸水、また避難を要する地区があるなど、一部のチームから参加不能の連絡があり、監督会議において中止することとなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 南部町民 ・参加予定人数 (1,924名) ・実施予定日 10/9 (中止) ・事業費 79,000円 ・開催場所 ー 	<p>今年度は、種目の見直しの時期にきているが、過去においても降雨等の影響により中止となっていることから、24年度に実施した後、検証していきたい。</p>		
			2-(4)	事業の評価	-
第27回うぐいすマラソン大会	参加者一人ひとりの健康増進に努めるとともに、参加者相互の親睦を図る。	<p>前日からの降雨によりグラウンド状態が悪くスタート位置を変更し対応した。ゴール後の完走賞の配布、上位入賞者の確認等は、急な降雨のために屋内で行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申込者数 813名 ・参加者数 638名 ・実施日 4/24 ・事業費 680,000円 ・開催場所 町内(福地地区) 	<p>計器の誤作動は無く、記録集計等はある程度スムーズに行われた。過去には豪雨の中で開催し、集計不能になるなどの事態があったことから、来年度以降も、当日中止も視野に入れて開催を計画したい。</p> <p>「年度最初のマラソン大会なので、いろいろな大会への調整を考えて参加しているが、楽しく走れた。」等の意見があった。</p> <p>人気のある事業であるが、記録集計の計測などに苦労しているため、過去の教訓を生かして継続していきたい。</p>		
			2-(4)	事業の評価	◎
第5回縦断駅伝競争大会	陸上競技のレベルアップを図ることと、駅伝競走の普及と参加者相互の親睦と融和を図る。	<p>平成22年度は競技者に事故があったので、平成23年度は監視体制を強化して実施した。</p> <p>駅伝競走大会(町内小学校、三戸郡下中学校・一般の3種目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 小学校9チーム、中学校男子9チーム、中学校女子5チーム、一般8チーム、計31チーム ・実施日 11/6 ・事業費 499,000円 ・開催場所 町内 	<p>警察からの交通安全に対する指導もあるので、先導車や交差点への交通整理員配置により、警備体制を充実させることで事故もなく大会を運営することができた。</p> <p>事故防止に関する警察の指導もあり、現在のコース設定の見直しの時期にきていると考えられる。</p> <p>県民駅伝大会等の選手発掘・育成に生かすことができる大会なので、今後も、参加者全員が競技に集中できる環境を整えていきたい。</p>		
			2-(4)	事業の評価	◎

体育館関係 NO.2

事務事業名 社会教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評 価 (事業の評価・今後の方向性)			
第6回町民歩け歩け運動大会	町民の体力づくりと親睦のため行うもので、日常生活での歩くことの必要性の理解と健康で明るい町づくりに寄与することを目的とする。	<p>天候にも恵まれて予定どおり7月に開催した。</p> <p>町民の体力づくり、健康維持、増進は必要であり、また、歩くことは各々の体力に合わせ誰でもどこでも気軽にできる運動であるので、今後も町民に関心を持ってもらう事業として展開していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 55名 ・実施日 7/3 ・事業費 44,000円 ・参加者負担金 55,000円 ・開催場所 岩手県滝沢村 鞍掛山 	<p>参加する者を想定し、参加者に合わせた行き先を選考しており、「今回のコースは歩きやすい」等の意見を多くいただいた。</p> <p>今後も、参加者からの意見を取り入れ、開催地及び内容を検討し、充実した事業にしていきたい。</p> <p>来年度も開催時期は、今年度と同じく7月頃に計画したい。</p>			
			2-(4)	事業の評価	◎	総合評価
ニュースポーツフェスティバル	<p>ニュースポーツを通して地域住民の健康維持・増進を図るとともに、各地区との交流、仲間づくりの推進に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バウンドテニス ・軟式バレーボール ・室内ペタンク ・ユニホック ・グラウンドゴルフ 	<p>町民を対象とした、ニュースポーツ体験会</p> <p>総合優勝制スポーツ大会の表彰式を兼ねてフェスティバルを開催し、総合優勝制の競技を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 45名 ・対 象 町内監督・スポーツ推進員 ・実施日 12/4 ・事業費 12,000円 ・開催場所 B & G海洋センター 	<p>参加者は初めての体験種目もあったが、体験することで楽しさと競技ルールを理解することができたので、ニュースポーツに対する姿勢が積極的であった。</p> <p>ニュースポーツフェスティバルは、より多くの各町内会・スポーツ推進員の方々にルール等を習得してもらうためにも必要な事業である。</p> <p>多くの町民が、ニュースポーツを体験できる環境(体制)を整えていきたい。</p>			
			2-(4)	事業の評価	◎	総合評価
ニュースポーツinスクール	青少年のスポーツ活動の充実とニュースポーツの普及を図る。	<p>町内小・中学校の要望に応じてスポーツ教室を開催(グラウンド・ゴルフ、ユニホック、バウンドテニス、ドッジビー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 延べ156名 ・講師 11名 ・回数 13回 ・事業費 22,000円 ・開催場所 B & G海洋センター 	<p>ユニホックやドッジビー等で体を動かす中で、生徒たちの笑い声も聞こえ、ニュースポーツを大いに楽しむことができた。</p> <p>以前から行われていた名川地区からの要望は多いが、福地・南部地区からの要望は少なかった。</p> <p>スポーツレクリエーション活動の普及推進のためには、効果的な事業であると思われるため、学校に対し積極的な広報活動をしていく。</p>			
			2-(4)	事業の評価	○	総合評価

体育館関係 NO.3

事務事業名 社会教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評 価 (事業の評価・今後の方向性)			
ニュースポーツ移動 教室	ニュースポーツの普及と地域住民の健康維持・増進を図る。	町内の各種団体の要望に応じてスポーツ教室を開催した。 ・参加者数 学習者 505名 (保護者含) ・講 師 16名 ・回 数 7回 ・事 業 費 32,000円 ・開催場所 福地小、剣吉小、向小、南部小、名川中体育館	福地・南部地区からも要望があり、事業の拡大は図られている。 担当者が出向いて行くため、どこでもニュースポーツの体験が出来ることから、参加者には大変喜ばれている。 今後、教室の参加者を増やしていくためにも、積極的な広報活動をしていく。			
2-(4)			事業の評価		総合評価	A

事務事業毎個別評価表

B&G海洋センター関係 NO.1

事務事業名 社会教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評 価 (事業の評価・今後の方向性)		
転倒・寝たきり予防教室	<p>高齢者を対象にした運動啓発事業増加する高齢者を対象に、運動の楽しさや重要性を知ってもらうことで習慣化を促し、転倒・寝たきり予防を図るとともに参加者の生きがいづくりを目指す。</p>	<p>ストレッチ、筋力トレーニング、リズム体操、レクリエーション、ニュースポーツ、健康についての講話、健脚度測定の実施。</p> <p>参加者の体力レベルや健康状態に留意し、怪我等の事故防止に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回数 36回 ・参加者数 南部地区30名 (延べ288名) 福地地区34名 (延べ344名) 名川地区36名 (延べ420名) ・事業費 84,000円 (講師謝礼) ・開催場所 南部公民館、福寿館 海洋センター 	<p>健康維持・増進につながる運動機会を提供するとともに、健脚度測定により自分の脚力を把握し、目標をもって取り組んでもらうことができた。「関節痛等の改善や運動の楽しさを実感した」等の感想をいただいた。</p> <p>参加者の体力レベル、当日の健康状態に留意しながら、今後も教室を続け、参加者が運動に親しむように継続していく。</p>		
			2-(4)	事業の評価	◎
水の安全教室事業	<p>自分の命は自分で守る自助意識を身に付けさせる水の安全教育を推進するとともに、あらゆる状況での水の事故を無くすためアクシデント時の対処方法や救助法を指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水辺での安全指導 ・着衣泳 	<p>水辺の危険性や着衣泳をはじめとするアクシデント時の対処法、安全な救助法等を体験・学習した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 児童53名 マリエントちきゅうたんけんクラブ ・実施日 7/30 ・事業費 - ・開催場所 海洋センタープール 	<p>水中を着衣状態で動くことの難しさと危険さを体験することができた。また、その対処法や救助法を学習したことで、水辺の事故防止を図ることができた。</p> <p>参加児童が多いため、全員を指導することへの対策を検討することが必要である。</p> <p>今後は、水の事故ゼロを目指し、他の小中学校にも当該事業を展開したい。</p>		
			2-(4)	事業の評価	○
B&G「体験クルーズ」	<p>船での集団遊び、寄港地での自然体験を通して礼節などの社会性や自然への恩恵を学び、豊かな人間形成を図る。</p>	<p>海洋性レクリエーション、海洋学習、自然環境学習、ホエールウォッチング等の活動を通して集団活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 小学校4年生～中学校3年生 ・参加者数 8名 ・実施日 8/17～8/22 5泊6日 ・事業費 65,000円 ・補助金 480,000円 ・開催場所 小笠原諸島 	<p>異世代との集団生活や活動を通して、礼節などの社会性を身につけることができた。</p> <p>普段体験することが少ない海洋性レクリエーションを楽しみ、小笠原諸島の自然環境に触れて環境保全の意識を高めることや、水辺の安全の知識を得ることができた。</p> <p>23年度の新規募集定員5名に対し、8名の参加申込みなど、貴重な機会を提供できることから、継続していく。</p>		
			2-(2)(4)	事業の評価	◎

B&G海洋センター関係 NO.2

事務事業名 社会教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評 価 (事業の評価・今後の方向性)			
B&G海洋体験セミナー	<p>共同生活を通じて、異世代間のコミュニケーションについて学ぶとともに、沖縄での海洋性レクリエーションや自然体験活動を通して、海・船・海洋環境についての理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋性レクリエーション体験 ・自然体験活動 ・史跡見学等 	<p>海洋性レクリエーション体験、自然体験活動、史跡見学等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 小学校5年生～中学校3年生 ・参加者数 2名 ・実施日 8/7～8/11 (4泊5日) ・事業費 39,680円 ・補助金 103,500円 ・開催場所 沖縄県北部地区 	<p>参加者の感想文や保護者の話からも自然環境や海洋性レクリエーションなどに対する意識の高揚が感じられた。</p> <p>また、異世代との集団生活や活動を通じて、礼節などの社会性を身に付けることができた。</p> <p>定員2名の募集に対し8名の申し込みがあり、対象者からの関心は高い。</p> <p>海洋性レクリエーションはもちろんのこと、沖縄の自然環境や安全知識を学習できるため、今後も継続する。</p>			
			2-(2)(4)	事業の評価	◎	総合評価
B&G会長杯三戸郡下中学校バレーボール大会	<p>バレーボールを愛好し、大会を通して学校相互の親睦と技術の向上を図る。</p>	<p>三戸郡中学校体育連盟との共催で春季青森県大会の予選会を兼ねた三戸郡中学校バレーボール大会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 三戸郡内中学校 ・参加者数 男子2チーム、女子6チーム ・実施日 4/29～30 ・事業費 38,200円 ・開催場所 南部町体育館 	<p>三戸郡中学校体育連盟との共催で春季青森県大会の予選会にもなっているため、三戸郡内の全中学校バレーボール部が参加し、交流を深めるとともに技術を磨いている。</p> <p>少子化に伴い、参加するチームが減っているが、今後も生涯及び競技スポーツの振興に寄与していきたい。</p>			
			2-(4)	事業の評価	◎	総合評価
B&Gスポーツ大会青森県大会	<p>B&G財団地域海洋センター青森県連絡協議会の主催事業。</p> <p>海事思想の普及・海洋性レクリエーションの振興を図るとともに、体力の向上に寄与し、各センター・クラブ相互の連携と親睦を図る。</p>	<p>B&G地域海洋センター及びB&G海洋クラブで練習を行っている青少年を主たる対象に、海洋性レクリエーションを中心としたマリンスポーツ大会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 町内小学生 ・参加者数 6名 ・実施日 8/2 ・事業費(補助金) 4,800円 ・開催場所 上北郡東北町 	<p>町内小学6年生が参加し、他市町村の選手と競技を通じて交流を深めるとともに、競技力向上にもつながった。</p> <p>大会の参加者を増やして競技力向上を図っていくとともに、水泳教室等を活用し普及促進を図る。</p>			
			2-(4)	事業の評価	○	総合評価

B&G海洋センター関係 NO.3

事務事業名 <small>社会教育指導の重点との関連</small>	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評 価 <small>(事業の評価・今後の方向性)</small>			
B&Gクリーンフェスティバルinなんぶ	海洋性レクリエーションの普及、水辺の環境保全の意識付けを図る。	カヌー体験、ライフジャケット浮遊体験、海洋センター周辺の清掃活動を実施した。 ・対象者 町内小学4年生～6年生 ・参加者数 15名 ・実施日 8/7 ・開催場所 海洋センター ・事業費 -	郷土の自然環境の一部を知り、清掃活動を行うことで水辺の環境保全の意識付けが図られた。 カヌー教室で海洋性レクリエーションの楽しさを学ぶとともに、ライフジャケット浮遊体験を通して、自分の命を自分で守る自助意識を身に付ける機会にもなっていることから今後も継続をしていく。			
2-(2)(4)			事業の評価	○	総合評価	B
初心者水泳教室	水や水泳をよく理解してもらい、水泳に対する興味を持ってもらう。	参加者に合わせて、幼児用プール等で水の楽しさを体験させた。 ・対象者 町内小学校1年生～3年生 ・参加者数 20名(延べ80名) ・実施日 8/9、10、11、12 ・開催場所 海洋センタープール ・事業費 -	参加者に合わせた指導に心がけ、水の楽しさ、泳げる喜びを感じることができた。 定員20名を超える申し込みがあり、対象者の保護者の関心は高い。今後は日程を調整して定員を増やしていきたい。			
2-(4)			事業の評価	◎	総合評価	A
小学校水泳教室	水や水泳をよく理解してもらい、水泳に対する興味を持ってもらうとともに、水泳競技の技術向上を図る。	レベルに合わせた指導に心がけ、小学校の教諭と連携しながら指導した。 ・対象者 名川南小学校1年生～6年生 剣吉小学校 1年生～6年生 ・回数及び参加者数 名川南小学校 10回 20名 剣吉小学校 3回 177名 ・開催時期 7月上旬～8月下旬 ・開催場所 海洋センタープール 名川南小学校 ・事業費 -	参加者のレベルに合わせた指導に心がけ、水の楽しさ、泳げる喜びを感じることができた。 小学校の教諭と連携しながら指導できることで、安全面の向上や、水泳に対する意識の高揚及び技術の向上が期待できる。 23年度からの新規事業として、指導内容と成果をフィードバックしながらより良い指導を継続していく。			
2-(4)			事業の評価	◎	総合評価	A

B&G海洋センター関係 NO.4

事務事業名 社会教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評 価 (事業の評価・今後の方向性)			
中村真衣講演会 水泳教室	<p>メダリストとしての経験をもとにした講演により、夢を持つこと・挑戦することの大切さ及び水泳実技指導により、水泳を楽しみながら技術向上・普及を図る。</p> <p>○講演 競技映像等を交えた講演・パネルトーク</p> <p>○水泳実技指導 町内の小学5年生～6年生を対象に実技指導</p>	<p>メダリストによる講演、水泳の実技指導を実施した。</p> <p>・対象者 実技：町内小学校5年生～6年生 ・参加者数 講 演：170名 実技指導：38名 ・実施日 講 演：8/4 実技指導：8/5 ・開催場所 講 演：町民ホール 実技指導：海洋センタープール</p> <p>・事業費 ー</p>	<p>講演では、競技に必要な努力・挑戦することの大切さを、実技指導では、水泳に対する興味が深まるとともに水泳技術力の向上の一助となった。</p> <p>世界の泳ぎを直接見て、水泳に対する興味・関心を今まで以上に高めることができた。</p>			
			2-(4)	事業の評価	◎	総合評価
水に賢い子どもを育む年間型活動プログラム事業	<p>名久井小学校・名川南小学校4年生を対象に、年間を通して「水」をキーワードに自然環境、安全学習、水生生物等についての体験や実験、物づくりを指導する。</p>	<p>年間を通して自然環境や水生生物調査等の活動を実施した。</p> <p>・実施回数と参加児童数 名久井小学校：6回 26名 名川南小学校：10回 5名 ・開催場所 名久井小学校：如来堂川、馬淵川 海洋センター 名川南小学校：如来堂川、馬淵川</p> <p>・事業費 ー</p>	<p>年間を通して水に関わる活動（サケの稚魚放流及び採卵・受精体験、如来堂川の水質・水生生物調査等）を実施し、身近な自然環境に興味を持つ児童が増えた。</p> <p>各種活動後の児童の感想から、自然環境や生命に対する意識の向上が見られた。</p> <p>児童は積極的に活動しており、学習意欲も高く、事業の効果は大きい。</p> <p>自然環境保全に適した内容を取り入れ、事業を拡大していく。</p>			
			2-(2)(4)	事業の評価	○	総合評価

事務事業毎個別評価表

◎学校給食重点目標

給食センター関係 NO.1

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評 価 (事業の評価・今後の方向性)			
安全・安心な給食	より安全・安心なおいしい給食を目指す。	<p>調理従事者及び施設の衛生管理を徹底し、事故・食中毒の防止と安心な給食を提供することに努めた。</p> <p>他の施設との情報交換やインターネットからの情報収集を行い、より安全・安心な食材を購入するように努めた。</p> <p>・月に一回、栄養士による共同購入選定会議を開き食材を購入した。</p>	<p>調理従事員の健康管理及び衛生管理と施設の衛生管理を重要視した作業を行い、安全・安心な給食の供給ができた。</p> <p>風評被害は避けなければならないが、原発事故発生の際及びその近隣の県の食材は購入を控え、地元産品や県産品を主とした食材を用いるよう努め、より安全・安心な給食を供給していく。</p>			
(1)						
バランスのとれた給食	栄養バランスのとれた食事内容の充実を図る。	<p>栄養士が学校に出向き食育授業を実施し、栄養指導を行った。 食育講演会を開催し、保護者への食に対する関心を深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食センター見学への対応 ・食育授業の栄養指導 町内小中学校12校 年間52時間 40回程度 ・食育講演会 南部小学校: 就学健診時に保護者を対象に実施(11/29)13名 向小学校: 保護者参観日に実施 20名 ・バイキング式給食 町内小中学校11校・幼稚園2園 年間16回 	<p>人が生きていくうえで「食する」ことがどれだけ大切であるか、更に、「食」が心身の健康増進と人間形成に重要な役割を担っていることを理解して貰うよう努めた。</p> <p>また、バイキング式の給食のカロリー・栄養バランスを個々に計算し、健全な食生活に役立てるとともに、それぞれの食材を自分で盛りつけるなど、通常の給食とは違う雰囲気の中で楽しい給食体験をさせることができた。</p> <p>食育指導については、今後も給食を通じて実施していく。</p> <p>給食だより等で広報活動を行い、全校でバイキング式給食が実施されるよう努めていく。</p>			
(2)						
手作り感ある給食	手作りの料理を心がける。	<p>食は目からと言われるように見た目を工夫することにより、好き嫌いを少なくし、給食の残食も少なくするよう努めた。</p> <p>食数の少ない日は可能な限り、手切りの作業を行うよう努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大根や人参の銀杏切り ・地元産豆腐使用のほうれん草の白和え 	<p>食材の切り方等に工夫を凝らし、見た目を美しく調理するようにし、好き嫌いのある子どもでも残さず食べられるように努めた。</p> <p>献立にも工夫をし栄養バランスを重視しながらも、旬の味覚を取り入れて楽しめる給食を供給するよう努めていく。</p>			
(3)						

給食センター関係 NO.2

事務事業名 就学指導委員会 委託事業	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評 価 (事業の評価・今後の方向性)			
季節感ある給食	伝統食、郷土食を取り入れ季節感を大切にする。	学校給食に伝統食・郷土食を取り入れて提供した。 ・伝統食: せんべい汁、干し菊味噌汁 ひつつみ ・郷土食: 鯖の味噌煮、なんばん味噌 美味のほね(デザート) サクランボ・りんご(デザート)	地域特有の食材を使った郷土食を学校給食に取り入れることにより子ども達へ地域の風土・伝統を伝えることに努めていく。 学校給食に伝統食・郷土食を取り入れることは、近年テレビ・報道等による郷土料理が取り上げられていることによる相乗効果もあり、子ども達へ地域の食文化・産業等についての理解を深めることができた。			
			事業の評価	◎	総合評価	A
地産地消の給食	地元の産物を活用しながら、地域との連携を大切にする。	給食時間に校内放送を活用し、子ども達へ給食に使われている材料を知らせることで地元農業への興味・関心を高め ・米穀は南部町産つがるロマンを100%使用。 ・地場産物の使用率26.2% ・青森県産物の使用率53.6%	給食だより等を活用しながら地元で生産されたものを紹介し、地域の子供達が食することにより、地元農産物の消費の拡大を図り地元農業の活性化に努めることができた。 栄養士が出向いての食育教室等を活用し、地元農業や地元産業について指導することに努めていく。			
			事業の評価	◎	総合評価	A
(4)						
(5)						

教育委員会活動の状況

1 教育委員会委員構成

H23年3月15日現在

職 名	氏 名	任 期 期 間
教育委員長	境 久 孝	H22.4.5 ～ H26.4.4
教育委員長職務代行者	中 村 祐 子	H19.3.16 ～ H23.3.15 H23.3.16 ～ H27.3.15
委 員	宮 本 佳 悦	H21.3.16 ～ H25.3.15
委 員	佐 藤 俊 男	H22.4.5 ～ H26.4.4
教 育 長	山 田 義 雄	H20.4.1 ～ H24.3.31

2 教育委員会の活動概要

(1) 学校訪問

学校等の教育関連施設を訪問して教育現場の状況を把握する
小学校3校、中学校3校の学校訪問を実施

訪 問 月	訪 問 校
平成23年 9月	福田小学校・福地中学校
平成23年10月	杉沢中学校・名川中学校
平成23年11月	剣吉小学校・向 小学校

(2) 会議・研修会

研修会等に参加し、委員としての幅広い識見を養う

開 催 日	会 議・研 修 名	出張先	出席者数
5月24日(火)	県市町村教育委員会連絡協議会定時総会・研修会	青森市	3人
7月7～8日(木～金)	三戸郡教育振興会臨時総会並びに研修会	むつ市	3人
10月22日(土)	南部町連合父母と教師の会研修会	南部町	2人
10月25日(火)	三戸郡教育振興会町村教育委員秋季研修会	新郷村	3人
11月9日(水)	市町村教育委員会教育委員長・教育長合同会議	青森市	2人

(3) 各種行事・大会等

その他、下記の各種行事・大会に参加

開催月	行事・大会名	開催月	行事・大会名
4月	7日：町内小・中学校入学式 8日：町内幼稚園入園式 22日：南部町教育大会 24日：うぐいすマラソン	10月	2日：町内幼稚園運動会 3日：南部町音楽会 15日～町内小学校学習発表会 16日～町内中学校文化祭
5月	21日～町内小学校運動会 15日～町内中学校体育祭	11月	13日：南部中学校創立50周年記念式典
6月	12日：郡総合体育大会開会式 15日：小学生陸上記録会	12月	4日～町内幼稚園おゆうぎ会
7月	3日：南部町歩け歩け運動大会 23日：県中学校体育大会夏季大会開会式 27日：南部町中学生海外派遣事業出発式	1月	8日：南部町成人式
		2月	18日：南部町文化賞・スポーツ賞表彰式 23日：郡教育振興会定期総会
9月	14日：南部町交通安全対策協議会 19日：南部七唄七踊り	3月	8日：町内中学校卒業式 16日：町内幼稚園卒園式 17日：町内小学校卒業式

3 教育委員会会議

月1回の定例会

開催日	会議	議案番号等	案件
4月20日	第70回定例会	報告第1号	平成23年度区域外就学の承諾について
		報告第2号	平成23年度通学区域外就学の承諾について
		報告第3号	平成22年度準要保護児童から要保護児童・生徒への認定変更について
		報告第4号	平成23年度準要保護児童から要保護児童・生徒への認定（追加）について
		報告第5号	平成23年度準要保護児童から要保護児童・

			生徒への認定変更について
		議案第 1 号	学校薬剤師の委嘱について
5月18日	第 71 回 定例会	報告第 6 号	平成 23 年度要保護・準要保護児童生徒の認定（追加）について
		報告第 7 号	南部町立学校給食センター運営委員会の委嘱について
		報告第 8 号	南部町スクールサポーターの委嘱について
		議案第 2 号	平成 23 年度要保護児童・準要保護児童生徒の認定（新入学児童）について
		議案第 3 号	南部町立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について
		議案第 4 号	南部町社会教育委員の委嘱について
		議案第 5 号	南部町公民館運営審議会委員の委嘱について
		議案第 6 号	南部町就学指導委員会委員の委嘱について
		議案第 7 号	南部町立学校栄養職員の服務取扱いの特例に関する規程を廃止する規程について
6月15日	第 72 回 定例会	報告第 9 号	平成 23 年度南部町教育関係補正予算（第 1 号）について
		報告第 10 号	平成 23 年度通学区域外就学の承諾について
		報告第 11 号	公立社会教育施設整備費補助金に係る財産処分について
		報告第 12 号	平成 22 年度南部町教育関係予算事故繰越計算書について
		議案第 8 号	南部町奨学基金の貸付について
		議案第 9 号	南部町立幼稚園保育料徴収条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
		議案第 10 号	南部町私立幼稚園就園奨励費補助金交付規程の一部を改正する訓令の制定について
7月20日	第 73 回 定例会	報告第 13 号	教育長の海外出張について
		報告第 14 号	平成 23 年度要保護・順要保護児童生徒の認定（追加）について

		報告第 15 号	平成 23 年度区域外就学の承諾について
		報告第 16 号	平成 23 年度就学指導委員会の判定について
		議案第 11 号	平成 23 年度特別支援教育就学奨励費の支弁区分の決定について
8 月 23 日	第 74 回 定例会	報告第 17 号	平成 23 年度通学区域外就学の承諾について
9 月 28 日	第 75 回 定例会	報告第 18 号	平成 23 年度要保護・準要保護児童生徒の認定変更について
		報告第 19 号	平成 23 年度就学指導委員会の判定について
		報告第 20 号	平成 23 年度南部町教育関係補正予算（第 3 号）について
		報告第 21 号	平成 22 年度南部町一般会計歳入歳出決算について
		報告第 22 号	臨時代理の報告について
		議案第 12 号	南部町文化賞・南部町スポーツ賞表彰審査会委員の委嘱について
		議案第 13 号	南部町教育委員会事務局職員の人事異動について
10 月 19 日	第 76 回 定例会	報告第 23 号	平成 23 年度区域外就学の承諾について
		報告第 24 号	平成 23 年度準要保護児童から要保護児童生徒への認定変更について
		報告第 25 号	平成 23 年度南部町教育関係補正予算（第 5 号）について
11 月 16 日	第 77 回 定例会	報告第 26 号	平成 23 年度要保護・準要保護児童生徒の認定（追加）について
		報告第 27 号	平成 23 年度就学指導委員会の判定について
		報告第 28 号	平成 23 年度区域外就学の承諾について
12 月 21 日	第 78 回 定例会	報告第 29 号	平成 23 年度区域外就学の承諾について
		報告第 30 号	平成 23 年度区域外就学の解除について
		報告第 31 号	平成 23 年度通学区域外就学の承諾について
		報告第 32 号	平成 23 年度通学区域外就学の解除について
		報告第 33 号	平成 23 年度要保護・準要保護児童生徒の認定（追加）について

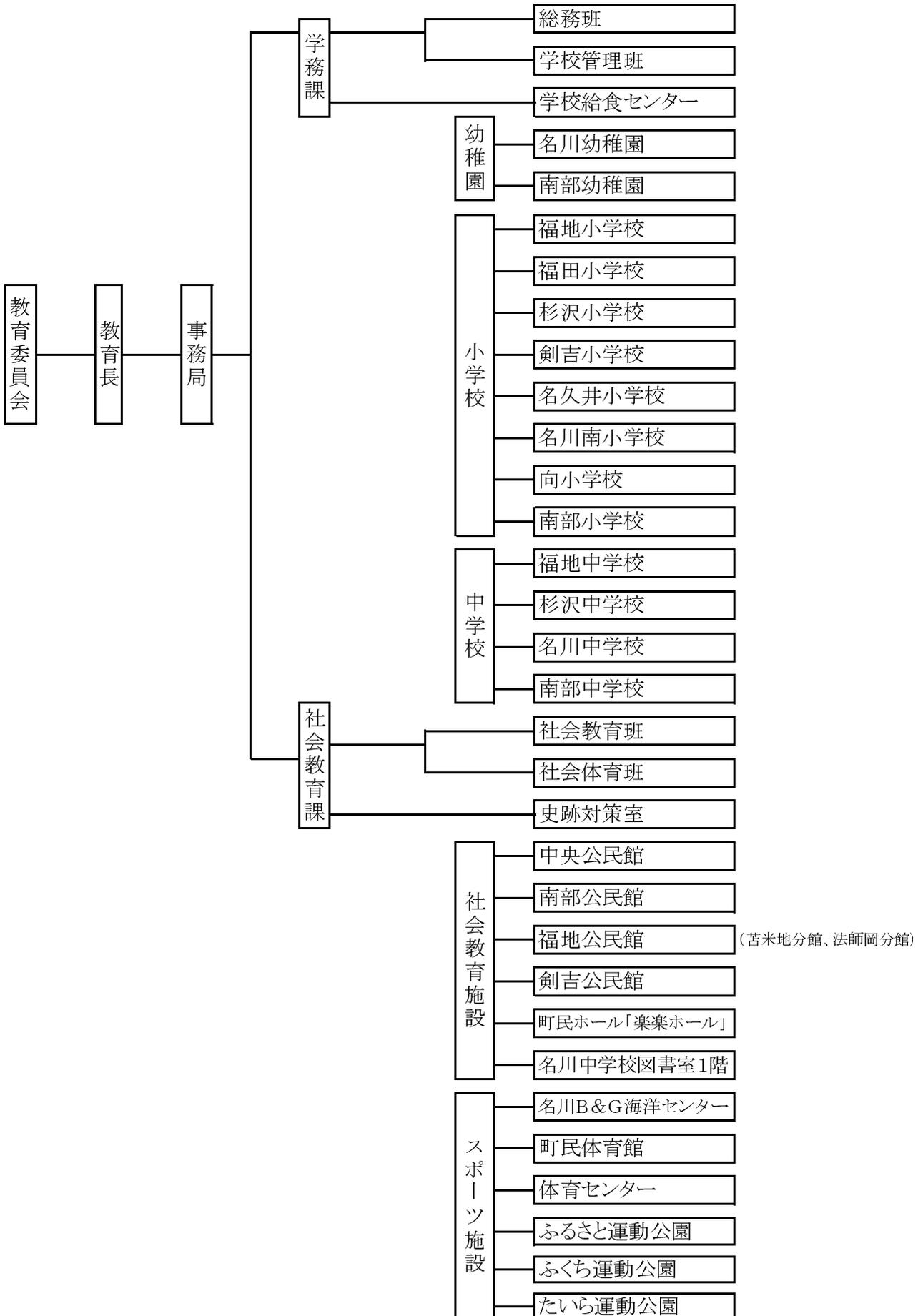
		報告第 34 号	平成 23 年度要保護・準要保護児童生徒の認定解除について
		報告第 35 号	教育財産（学校図書）の取得について
		報告第 36 号	南部町教育関係補正予算（第 7 号）について
		報告第 37 号	南部町立学校評議員の委嘱について
		議案第 13 号	平成 24 年度区域外就学の承諾について
		議案第 14 号	平成 24 年度通学区域外就学の承諾について
		議案第 15 号	平成 23 年度南部町文化賞・スポーツ賞被表彰者の決定について
1月18日	第 79 回 定例会	報告第 38 号	平成 23 年度就学指導委員会の判定について
		議案第 16 号	南部町要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱の判定について
		議案第 17 号	南部町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
		議案第 18 号	南部町体育指導委員に関する規則等の一部を改正する規則の制定について
2月22日	第 80 回 定例会	報告第 39 号	平成 24 年度区域外就学の承諾について
		報告第 40 号	平成 24 年度通学区域外就学の承諾について
		報告第 41 号	平成 23 年度要保護・準要保護児童生徒の認定変更について
		報告第 42 号	平成 23 年度要保護・準要保護児童生徒の認定（追加）について
		報告第 43 号	事務権限の移譲に係る意見について
		議案第 19 号	南部町立公民館条例の一部を改正する条例の制定について
		議案第 20 号	南部町立小・中学校における教育振興事業補助金交付要綱の一部改正について
		議案第 21 号	南部町スクールサポーター配置事業実施要綱の一部改正について

		議案第 22 号	南部町要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の一部改正について		
		議案第 23 号	県費負担教職員の任免等内申について		
3月23日	第 81 回 定例会	報告第 44 号	平成 24 年度区域外就学の承諾について		
		報告第 45 号	区域外就学者の平成 23 年度要保護・準要保護児童生徒の認定報告について		
		報告第 46 号	平成 24 年度通学区域外就学の承諾について		
		報告第 47 号	平成 23 年度南部町教育関係補正予算（第 8 号）について		
		報告第 48 号	平成 24 年度南部町教育関係当初予算について		
		議案第 24 号	平成 24 年度要保護・準要保護児童生徒の認定について		
		議案第 25 号	南部町立小学校・中学校の職員の服務等に関する規程の一部改正について		
		議案第 26 号	平成 23 年度南部町教育委員会の事務の点検及び評価報告書について（平成 22 年度実績）		
		議案第 27 号	平成 24 年度南部町教育方針について		
		議案第 28 号	平成 24 年度南部町教育大会について		
		議案第 29 号	県費負担教職員の異動の内申について		
		議案第 30 号	南部町教育委員会事務局職員の人事異動について		
		議案第 31 号	南部町立幼稚園の管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について		
		議案第 32 号	南部町立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について		
					（南部町教育委員会委員長の選挙について）
					（南部町教育委員会委員長職務代行者の指定について）
			（南部町教育委員会教育長の選任について）		
			（南部町教育委員会委員の席次の決定について）		

※全議案 原案可決

教育委員会事務局の組織の状況

1 教育委員会機構図



2 教育委員会事務分掌

(1) 学務課

【総務班】

- ① 教育委員会の会議に関する事。
- ② 教育委員会及び学校その他の教育機関の職員の任免その他人事に関する事。
- ③ 公印の保管に関する事。
- ④ 文書の収受、発送、管理、保存及び廃棄に関する事。
- ⑤ 教育予算の編成及び執行に関する事。
- ⑥ 県費負担職員の任免その他人事に関する事。
- ⑦ 学校その他の教育機関の設置、管理及び廃止に関する事。
- ⑧ 教育財産の管理に関する事。
- ⑨ 教育委員会規則等の制定又は改廃に関する事。
- ⑩ 基幹統計及び教育に係る調査その他の統計に関する事。
- ⑪ 県教育委員会その他の関係機関との連絡調整に関する事。
- ⑫ 他の班の所掌に属しない事務に関する事。

【学校教育班】

- ① 校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関する事。
- ② 学校施設台帳の整備保管に関する事。
- ③ 教育内容及びその取扱いに関する事。
- ④ 教科用図書採択並びに給与に関する事。
- ⑤ 学習効果の評価に関する事。
- ⑥ 校長及び教員その他教育関係職員の研修に関する事。
- ⑦ 校長及び教員その他教育関係職員並びに児童、生徒の安全厚生及び福利に関する事。
- ⑧ 学校給食に関する事。
- ⑨ 児童及び生徒の就学に関する事。
- ⑩ 学校保健に関する事。
- ⑪ 学校図書館に関する事。
- ⑫ 義務教育費国庫負担事務に関する事。

- ⑬ 学校の産業教育、理科教育及びへき地教育の振興に関する事。
- ⑭ 幼稚園に関する事。
- ⑮ 児童及び生徒の交流に関する事。
- ⑯ 奨学金に関する事。
- ⑰ その他学校教育に関する事。

(2) 社会教育課

【社会教育班】

- ① 公民館その他社会教育機関の設置、管理及び廃止に関する事。
- ② 社会教育委員、公民館運営審議会及び文化財審議委員に関する事。
- ③ 各種教室及び学級その他社会教育講座に関する事。
- ④ 社会教育関係団体の指導育成に関する事。
- ⑤ 社会教育資料の刊行及び配布並びに情報の交換、調査研究に関する事。
- ⑥ 文化財の保護に関する事。
- ⑦ 郷土芸能の伝承に関する事。
- ⑧ 社会教育のために必要な設備、機材及び資料の提供に関する事。
- ⑨ ユネスコ活動に関する事。
- ⑩ コミュニティーに関する事。
- ⑪ ボランティアに関する事。
- ⑫ 青少年教育に関する事。
- ⑬ 青少年健全育成に関する事。
- ⑭ 家庭教育に関する事。
- ⑮ 婦人教育に関する事。
- ⑯ 男女共同参画事業に関する事。
- ⑰ 生涯学習推進事業に関する事。
- ⑱ 文書の收受、発送、管理、保存及び廃棄に関する事。
- ⑲ その他社会教育に関する事。

【社会体育班】

- ① 体育・スポーツの振興に関する事。
- ② スポーツ推進委員に関する事。
- ③ 体育関係団体の指導育成に関する事。
- ④ 体育施設の管理運営及び整備に関する事。
- ⑤ 運動公園の管理運営及び整備に関する事。
- ⑥ 町民運動会に関する事。
- ⑦ スポーツ教室及びスポーツ大会に関する事。
- ⑧ その他社会体育に関する事。

【史跡対策室】

- ① 南部氏関連城館整備検討委員会に関する事。
- ② 南部氏史跡整備検討委員会に関する事。
- ③ 国指定史跡「聖寿寺館跡」保存管理に関する事。
- ④ 南部氏史跡の公有化に関する事。
- ⑤ 南部氏史跡発掘調査に関する事。
- ⑥ 南部氏史跡整備基本構想策定に関する事。
- ⑦ 南部氏史跡整備及び活用に関する事。
- ⑧ 南部氏史跡の周知に関する事。
- ⑨ 南部氏の文献調査及び研究に関する事。
- ⑩ 南部氏史跡対策室の経理事務に関する事。

3 教育関係予算の状況（決算）

（単位：千円）

款	項	目	20年度	21年度	22年度	23年度
教育費	教育総務費	教育委員会費	1,277	1,086	1,586	1,234
		事務局費	144,249	521,212	540,130	161,885
		小計	145,526	522,298	541,716	163,119
	小学校費	学校管理費	112,143	139,157	84,429	91,512
		教育振興費	25,960	24,325	23,614	32,172
		小計	138,103	163,482	108,043	123,684
	中学校費	学校管理費	57,974	91,825	53,091	50,585
		教育振興費	18,181	19,573	18,682	18,812
		小計	76,155	111,398	71,773	69,397
	幼稚園費	幼稚園管理費	63,911	62,292	46,653	46,408
		教育振興費	4,792	6,453	5,922	5,129
		小計	68,703	68,745	52,575	51,537
	社会教育費	社会教育総務費	86,948	88,852	83,077	71,125
		公民館費	23,398	121,588	34,207	26,179
		社会教育施設費	13,081	12,614	14,631	12,962
		文化財保護費	28,537	28,926	78,503	29,543
		小計	151,964	251,980	210,418	139,809
	保健体育費	保健体育総務費	67,964	72,579	69,375	60,617
		保健体育施設費	102,967	71,420	44,509	75,562
		保健体育施設整備費	171,780	145,346	26,155	—
		小計	342,711	289,345	140,039	136,179
給食センター費	給食センター管理費	804,189	560,772	103,423	104,544	
	小計	804,189	560,772	103,423	104,544	
計			1,727,348	1,968,020	1,227,987	788,269
対前年比			1.56	1.13	0.62	0.64

南部町立小・中学校児童生徒の状況

○ 児童生徒の学力（全国学力調査）

（１）小学校

		全 国	青森県	南部町	備 考
通 過 率 (%)	H19	290.4	303.2 (4位)	302.5	
	H20	239.7	256.8 (3位)	256.2	
	H21	253.9	268.3 (3位)	260.5	
	H22	抽出調査方式と希望利用方式に切り替えて実施することとなったため、データの分析は不可能（調査方式による抽出）			
	H23	東日本大震災により調査の実施は見送りとなったため、データの分析は不可能			

※平成21年度については、小学校は全国平均を上回っているが、県平均よりは下回っています。

県教委は、小学校で全国平均を上回ったことについて、「家庭での学習習慣が身についている」と分析しています。

（２）中学校

		全 国	青森県	南部町	備 考
通 過 率 (%)	H19	288.2	291.9 (14位)	298.2	
	H20	246.7	252.2 (12位)	255.6	
	H21	271.1	274.8 (20位)	280.0	
	H22	抽出調査方式と希望利用方式に切り替えて実施することとなったため、データの分析は不可能（調査方式による抽出）			
	H23	東日本大震災により調査の実施は見送りとなったため、データの分析は不可能			

※平成21年度については、全国平均及び県平均を上回る成績となっております。

県教委は、「知識」に関する部分は、概ね理解しているとしながらも、「活用」に関する問題には課題があり、「知識」や「技術」を活用する力を身につけさせる必要があるとしています。

町立小・中学校の「特色ある学校経営」事業の目的と実績

○事業目的

教育委員会は、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童生徒を育成するため、学校経営に創意工夫をこらし、個を生かし創造性を育む学校教育の活発な活動を推進することを目的として、特色ある学校経営事業を当該年度の予算の範囲内において実施する。

(1) 小学校

◆福地小学校		
活動名称	事業のねらい	活動実績
児童の豊かな心をはぐぐむための学習環境整備事業	1) 命を守る体験活動の充実	・保健教育・安全教育の推進
	2) 体験活動の充実 学校生活の改善の充実	・少年消防クラブ活動の推進 ・人権教育に関する研修の支援 ・郷土及び伝統文化理解の場の支援 ・学級経営の充実、Q-Uの実施
◆福田小学校		
活動名称	事業のねらい	活動実績
意欲あふれる福田っ子の育成	1) 落ち着いて学習する児童の育成	・児童の実態をつかみ、適切な指導に役立てた。(Q-U学級満足度の活用) ・読書活動の推進(図書購入) ・学習の記録を資料用として活用(教材提示装置の購入)
	2) 心の豊かな子・やさしく思おやりのある子の育成	・JRC活動の一環として、9月にマスコット作戦を実施
	3) 自分のめあてに向かって進んで努力しようとする子の育成	・様々な運動に挑戦し、運動に対して興味を持たせる。 (ドッチビー・イレギュラーボールの購入)

◆杉沢小学校		
活動名称	事業のねらい	活動実績
豊かな心・自然やふるさとを大切に思う心・たくましい心の育み推進	1) 読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書と推薦図書の奨励 ・読み聞かせボランティアによる読書活動の充実
	2) 体験活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校農園、田んぼの栽培活動 ・自然体験活動の実施 (焼きいも、テント泊、押し花) ・三世代交流会
	3) 全校運動・外遊びの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・マラソン・なわとび・鉄棒・水泳の各がんばり週間の取り組み ・用具整備 (コーン・ラダー)
◆剣吉小学校		
活動名称	事業のねらい	活動実績
児童の感性を磨き、伸ばすための体験活動及び環境づくり	1) 行事および体験を取り入れた活動	<ul style="list-style-type: none"> ・名久井農業高校との交流活動 2 学年：野菜の袋栽培 3 学年：花の移植活動 4 学年：りんごの栽培・収穫 ジャム作り
	2) 環境美化活動	<ul style="list-style-type: none"> ・花壇整備 ・各教室・相談室の整備
	3) 各種活動	<ul style="list-style-type: none"> ・文化的活動 イラスト・パソコンクラブ ゲーム・工作クラブ・文化クラブ ・学習活動 書く活動を取り入れた指導 作品づくりのポイントの研修

◆名久井小学校		
活動名称	事業のねらい	活動実績
平成23年度名久井小学校特色ある学校経営事業	教育目標具現のための体験的活動への支援と環境整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと学習 農園活動（野菜づくり） ・理数教育の充実 おもしろ科学教室 エネルギー関連教育 ・マーチングでふるさと元気事業 技術指導 ・健康教育の充実 歯の保健指導
◆名川南小学校		
活動名称	事業のねらい	活動実績
地域の特性を生かした体験活動の推進	<p>1) 地域の自然・文化を取り入れた生活科や総合的な学習を推進</p> <p>2) 地域の人材を積極的に活用して、子どもの豊かな人間性や社会性を育むとともに地域の人々が訪れる、地域に開かれた学校づくりを進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生産活動 米作り ゲストティーチャーでの学習（習字） ・生活科・総合的な学習の時間の体験活動 俵積み唄、駒踊りの継承活動 校外での体験学習 自然の体験学習 ・校内外環境整備 学級園、学校園での栽培活動 ・餅つき・そばうち会の交流 学校田で収穫した餅米での餅つき 蕎打ちの講習会、昔の遊び

◆向 小学校		
活動名称	事業のねらい	活動実績
一人一人を生かす学校づくり	1) 児童の活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の宝物みがき ・奉仕的活動 ・JRC活動、クリーン作戦、縦割り班清掃
	2) ふるさと学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の伝統芸能の継承活動 ・ナニヤドヤラの踊り・唄・太鼓 ・総合的な学習
	3) 環境整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校花壇の美化活動 ・学校内の環境美化
	4) 校内研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきと表現する子どもを育成するための指導法の研究 ・現職教育の充実
◆南部小学校		
活動名称	事業のねらい	活動実績
豊かな心をはぐくむ体験活動や環境づくり活動	1) 多くの自然、地域、人に関わる多様な体験活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫感謝祭の実施、自然体験活動の充実 3 学年：りんご作業体験 4 学年：特産品調べ学習
	2) 地域の良さに気づき、豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> 5 学年：米作り体験学習 6 学年：歴史と文化調査
	3) めあてに向かって挑戦する学習や活動を設定	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな心を育てるための行動 読書活動の推進 読み聞かせによるボランティア活動
	4) 学ぶ楽しさや喜びを味わわせ、主体的に行動する子どもを育成	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化活動 花いっぱい運動 学習環境の充実

(2) 中学校

◆福地中学校		
活動名称	事業のねらい	活動実績
「自ら学び自ら育つ生徒」、「規律正しく心豊かな生徒」の育成事業	地域の人材を活用し、地域の文化、自然環境等に触れさせながら、教育目標である「自ら学び自ら育つ生徒」、「規律正しく心豊かな生徒」の育成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の充実 「総合的な学習」等への講師謝金・保健教育・安全教育の推進 ・学習に必要な物品の購入費 ・体験活動の経費 花壇整備用原材料費 ・発表活動備品購入費 ステージ用壇のびな壇
◆杉沢中学校		
活動名称	事業のねらい	活動実績
杉中生はぐくみプラン「広げ、深める学びの輪」	1) 地域や関係機関との連携のもとに、健全な心をはぐくむ教育を推進し教育目標の達成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・夢を育む活動 芸術鑑賞・講和 ・命を育む活動 講話 ・友情と共生の心を育む活動 手話講習会 聾学校交流会 ・郷土・母校愛をはぐくむ活動 学習環境整備（学校農園） パネル制作（運動会・旧校舎）
	2) 地域の文化・伝統に対する理解、思いを深めるとともに、郷土愛をはぐくみ地域の担い手となるしなやかな生徒の育成を図る。	

◆名川中学校		
活動名称	事業のねらい	活動実績
「平成 23 年度特色のある学校経営」	豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚を育成する教育の推進。	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土理解学習（名川秋まつりへの参加、伝統芸能の伝承、郷土にゆかりのある方を招いての指導） えんぶり・手踊り ・学習支援 総合「音楽」における三味線の指導性教育講座 ・行事支援 文化祭・合唱コンクールにおける音楽教材の購入 投光器の設置
◆南部中学校		
活動名称	事業のねらい	活動実績
南中愛 ～道義～	人間性豊かな生徒を育成するため、個を生かし生きる力と夢を育むために、生徒会活動テーマのもと、「あいさつの活性化」・「積極的に諸問題に取り組む」・「よいことを進んで認める」ことを重点項目とし、学校教育を推進。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援関係 J R C 活動関係（幼稚園訪問 特別支援学級用作品制作 ・行事支援 体育祭、文化祭・中体連・立志式 卒業式 ・校舎内美化整備